

(1) 報告 これまでの経緯

ア 平成26年度 主な活動報告

<p>2・3年生 4月9日(水)</p> <p>1年生 4月10日(木)</p>	<p>総合的な学習の時間オリエンテーション 全学年において実施した。 本年度の進め方について、特に1学年は3年間の キャリア教育についての説明をした。 生徒指導サポーターおよびキャリアアドバイザー の紹介も行われた。 場所：視聴覚室</p>	
<p>5月2日(金)</p>	<p>就業体験報告会(6校時, 2学年) 3年生が昨年11月の就業体験の様子を報告した。 報告した就業体験先 ホームック鹿島台店 クミアイ化学工業株式会社 老人保健施設松島みどりの家 遠藤水産株式会社 松島温泉湯元松島一の坊 大崎市役所鹿島台総合支所</p>	
<p>5月22日(木)</p>	<p>就職ガイダンス(3学年) 宮城県中小企業家同友会 「就職ガイダンス～業種・業界を知ろう～」 場所：仙台サンプラザホール 就職希望者を中心に97名が参加。生徒の参加は 昨年度に引き続き2年目の試みであり、進路意識 の高揚につながり、大成功であった。</p>	
<p>5月23日(金)</p>	<p>インターンシップ講話(2学年) 講師：生徒指導サポーター 竹中 悦郎 キャリアアドバイザー 佐々城瑞美 昨年度に引き続き、民間企業等における長年 のご経験を交えながら、インターンシップの心構え や準備など、実際の様子について大変有意義なお 話を頂いた。</p>	
<p>5月30日(金)</p>	<p>キャリアセミナー(全学年) 特定非営利活動法人ハーベスト 代表理事 中山 聖子 氏 他 1年生対象と2・3年生対象に分けて実施。 全学年において少人数の講座別実施。 全日制課程の高等学校で、全学年において実施 しているキャリアセミナーは本校のみである。</p>	

<p>6月13日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(3学年) 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 仙台大原簿記情報公務員専門学校 進路希望別(就職, 進学) 就職希望者は模擬面接指導など実践的対策を行った。 進学希望者は, 生徒個々の希望する進学先に講師をして いただいた(東北学院大学, 宮城農業大学校, 東北文化学 園専門学校, 仙台理容美容専門学校, SENDAI 中央理 容美容専門学校, 専門学校花壇自動車大学校, 専門学校デ ジタルアーツ仙台, 仙台総合ペット専門学校, 仙台コミュ ニケーションアート専門学校, 仙台医健専門学校, 仙台医 療福祉専門学校, 仙台リゾート&スポーツ専門学校, 仙台 こども専門学校, 仙台医療秘書福祉専門学校)。</p>	
<p>7月4日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(1学年) 全体講話および進路別講話 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 1年生全員に対する全体講話 進路希望別(就職・進学)講話 自己分析講座</p>	
<p>7月4日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(2学年) 全体講話および進路別講話 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 進路ディスカッション(大学・専門学校・就職各 分野によるパネルディスカッション) 進路希望別での講演(就職・進学・公務員)</p>	
<p>7月1日(火) ~2日(水) 8月26日(火) ~28日(木) 9月4日(木) ~5日(金) 9月11日(木)</p>	<p>模擬面接指導(3学年 全4回) 第1回 3年生全員, 一人30分, グループ面接 第2回 3年生全員, 一人30分, 個人面接 第3回 3年生就職・進学希望者, 一人15分, 個人面接 第4回 3年生就職希望者, 一人15分, 個人面接 本校では, 他校に例のないほどの模擬面接全体 指導を年4回実施している。この他に, 夏休み中 をはじめ進路ガイダンス等で面接対策を実施。</p>	
<p>7月17日(火)</p>	<p>高校生の就職を考える保護者セミナー(3年生全員) (主催:宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班) 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社 代表取締役, 特定非営利活動法人仙台進路指導塾代表理事, 本校キャリア教育推進協議会委員) 保護者3名も参加した。3・4校時実施。</p>	
<p>7月24日(水)</p>	<p>平成26年度 第1回キャリア教育推進委員会 ①平成25年度キャリア教育推進協議会活動報告 ②主な研究成果, 検証結果 ③平成26年度キャリア教育に向けての推進事業計 画案について ④第2回キャリア教育推進委員会に向けて ⑤意見交換</p>	

<p>7月16日(水) 7月23日(水) 7月30日(水) 7月31日(木)</p>	<p>合同企業説明会(3学年) (7月16日(水))石巻(石巻市総合体育館) (7月23日(水))塩釜(塩釜市体育館) (7月30日(水))古川(大崎市古川総合体育館) (7月31日(木))仙台(仙台市体育館) 延べ89名の生徒が参加し、進路選択に役立てた。</p>	
<p>7月30日(水) 8月5日(火) 8月19日(火)</p>	<p>3年生出校日における外部講師指導など 講師：株式会社HEXA 進路サポート事業部 内容：進路希望別(就職, 進学, 公務員) 履歴書指導, 模擬面接指導, 応募書類関係の指導 オープンキャンパスについての指導 など ※8月5日(月)は, 校内の先生方のみで指導に当たった。</p>	
<p>9月5日(金)</p>	<p>就職進学出陣式(3学年) 決意表明 生徒代表 就職志望者代表 進学志望者代表 学校長激励の言葉(学年主任挨拶) 進路指導部長挨拶</p>	
<p>9月19日(金)</p>	<p>就業体験 事前指導「ビジネスマナー講習会」 対象：2学年全員 (5・6校時実施) 講師：福島学院大学短期大学部 教授・情報ビジネス科長 小松 由美 氏 ①なぜインターンシップを行うのか ②「働く」とはどういうことか ③企業が求める人材 ④職場での振る舞い方 ⑤インターンシップを今後の進路選択に役立てよう</p>	
<p>9月19日(金)</p>	<p>「ビジネスマナー実技講習会」 講師：福島学院大学短期大学部 教授・情報ビジネス科長 小松 由美 氏 対象：2学年「課題研究」秘書概論受講者22名 時間：15時50分～16時50分 今年度新たな試みとして、秘書サービス接客関係専門家である小松由美先生より、ビジネスマナーの初歩について直接ご指導頂ける貴重な時間となった。小松由美先生は、秘書検定・サービス接客検定の面接試験委員や「HES会員(注)」としても著名な先生である。 この時間では、実技を繰り返しご指導頂きながら、お辞儀や歩き方・表情・言葉遣いなどが少しずつ変化し、自信ある表情に変化している生徒達の表情が強く印象に残った。 「(注)HES(ヒューマンスキル・エッセンティア・セクション)会員：実務技能検定協会のビジネス系検定いずれか2検定の1級(電話は実践級)合格者」</p>	

10月7日(火)	<p>企業見学(1学年)(クラスごとに現場見学・講話)</p> <p>光電子株式会社(1組)</p> <p>株式会社東北イノアック小牛田工場(1組)</p> <p>ケイテック株式会社(2組)</p> <p>YKKAP株式会社(2組)</p> <p>みちのくミルク株式会社(3組)</p> <p>ポラテック株式会社東北工場(3組)</p>	
10月29日(水)	<p>未来のしごとがわかる専門学校ガイダンス (宮城県専修学校各種学校連合会 主催 1・2学年 進学・公務員希望者 参加)</p> <p>進学及び公務員希望者の進路意識を高めるために 進学・公務員希望者が多数参加し、真摯な姿勢でガイダンスに臨んでいた。 延べ29名が参加</p>	
<p>10月16日(木)</p> <p>11月6日(木)</p> <p>11月27日(木)</p>	<p>合同企業面接会(3学年)</p> <p>11月6日(木) 仙台(仙台サンプラザ)</p> <p>11月27日(木) 仙台(仙台駅前アエル)</p> <p>10月16日(木) 古川(大崎市古川総合体育館)</p> <p>延べ19名が参加</p>	
10月31日(金)	<p>高校生の就職を考える保護者セミナー (1学年生徒全員及び保護者対象, 主催: 宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班)</p> <p>講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役, 特定非営利活動法人仙台進路指導塾代表理事)</p> <p>「高校卒業後の若者を取り巻く環境と保護者としてできること」</p>	
10月31日(金)	<p>就業体験出陣式(2学年)</p> <p>学校長激励の言葉</p> <p>2学年主任挨拶</p> <p>進路指導部より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終オリエンテーション ・諸注意及び諸連絡 	
11月5日(水) ~11月7日(金)	<p>就業体験(2学年)</p> <p>2年生79名 30事業所</p> <p>(今年度は、全国産業教育フェアが宮城県で開催された関係上、10名を超える生徒が運営補助員となったため、やむを得ず参加できなかった。)</p> <p>「総合的な学習の時間」(1単位)における指導</p> <p>今年度より進路指導部主幹として初年度であった。販売やサービス等の職種など民間の事業所を中心に、将来の職業観・勤労観の育成や働く意義・意識の高揚に重点を置いた取り組みを行った。</p>	

<p>11月15日(土) 11月16日(日)</p>	<p>販売実習(1学年) 商業科「ビジネス基礎」における指導 場所：イオン古川ショッピングセンター 1年生の代表生徒15名が参加。 高校生が商品開発に携わった「仙臺サイダー」「たまげ大福だっちゃ」などを特設したブースで販売した。また、3年選択「商業技術」開発の「パリもちスティック」の試作品の販売も同時に行った。</p>	
<p>12月4日(木)</p>	<p>起業家教育 宮城大学学生チューターによるご助言 「大崎市に関する課題解決策を考える」 宮城大学事業構想学部 宮原ゼミナール所属の学生5名 対象：3年1組～3組(各2時間) 高校生の班ごとのミッションに対して、大学生から直接ご助言を頂く貴重な機会であった。</p>	
<p>12月5日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(1学年) 5校時：全体講話 6校時：職業別分科会①, 職業別分科会② 講師：株式会社HEXA 進路サポート事業部 各高等教育機関の皆様方</p>	
<p>12月15日(月) ～12月17日(水)</p>	<p>古川ハローワーク個別面談・ハローワークガイダンス(未内定者全員対象) 古川公共職業安定所 学卒部門 学卒ジョブサポーター 3日間とも2名</p>	
<p>12月19日(金)</p>	<p>キャリア教育セミナー(3学年) 「将来の家計・金融関係について」 講師：SMBコンシューマーファイナンス株式会社 仙台お客様サービスプラザ 東北エリア担当 佐藤 一秋 氏 他 わかりやすい口調で、高校卒業後の人生設計をするにあたり、必要不可欠なお話を数多く頂戴した。 10年後・20年後の自分を考えるキッカケづくりにも役立つ内容となった。</p>	
<p>平成27年 1月9日(金)</p>	<p>高校生の就職を考える保護者セミナー (2学年生徒及び保護者対象、主催：宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班) 講師：桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役、特定非営利活動法人仙台進路指導塾代表理事) 「高校卒業後の若者を取り巻く環境と保護者としてできること」 2学年生徒及び保護者対象として、社会人として今すべきことについてわかりやすくお話を頂いた。</p>	
<p>平成27年 1月15日(木)</p>	<p>古川ハローワーク個別面談・ハローワークガイダンス(未内定者全員対象) 古川公共職業安定所 学卒部門 学卒ジョブサポーター</p>	

<p>平成27年 1月16日(金)</p>	<p>キャリア教育講話「資金管理について」(3年生対象) 講師:進路指導部 引地 功 教諭 自らファイナンシャルプランナー(FP)の資格を持たれていることもあり、これからの長い人生を見通した資金計画等についてお話をを行い、社会で役立つ内容となった。特に、年金や保険のお話についてわかりやすい説明があり、社会生活上知らないといけないお話ばかりであった。</p>	
<p>平成27年 1月20日(火)</p>	<p>電話対応に係わるビジネスマナーセミナー (2学年「課題研究」秘書概論受講者22名) 講師:声と話し方コンサルタント フリーキャスター 赤間 裕子 氏 (公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会宮城支部) アナウンサー等のご経験も豊富な赤間氏から、実践的なロールプレイングも行っていただき、電話応対も含めてのビジネスマナーの大切さをご指導頂き、生徒一人一人がとても有意義な時間を過ごしていた。</p>	   
<p>平成27年 1月21日(水)</p>	<p>第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰式・キャリア教育推進連携シンポジウム 表彰式:国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟国際会議室 シンポジウム:国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール 本校からは、教頭・進路指導部長(協議会事務局)の2名参加(表彰状授与は教頭)</p>	   

<p>平成27年 1月21日(水)</p>	<p>キャリア教育講話(2学年) 講師:生徒指導サポーター 竹中 悦郎 キャリアアドバイザー 佐々城瑞美 キャリアアドバイザー 相川 和男 生徒指導サポーター・キャリアアドバイザーのご紹介を行った。そして、これからの就職活動を中心としたキャリア教育・進路指導の流れとそのポイントについて、実際の様子も含め大変有意義なお話を頂いた。2月以降に行われる2年生全員対象の生徒指導サポーター・キャリアアドバイザー一面談に向けても兼ねて実施した。</p>	
<p>平成27年 1月23日(金)</p>	<p>みやぎ高校生入社準備セミナー(3学年) (宮城県教育委員会(高校教育課), 宮城県, みやぎジョブカフェ主催) 「社会人としての心構え&マナー講座, 社会人のトラブル予防&お財布講座 他」 講師: 仙台青葉学院短期大学准教授 東北大学・東北学院大学・山形大学講師, 社会保険労務士 小形 美樹 氏 博士(経営学) 主に社会人としての心構えやビジネスマナーについて、実際の場面を取り上げながらわかりやすくご指導頂くことができた。</p>	
<p>平成27年 1月29日(木)</p>	<p>学習成果発表会 発表: 1年 企業見学報告 2年 就業体験報告 3年1組~3組(18班) 場所: 鎌田記念ホール(大崎市鹿島台) 本校のキャリア教育推進の目玉となる発表会は、生徒たちにとって有意義な時間であった。</p>	
<p>平成27年 1月29日(木)</p>	<p>平成26年度 第2回キャリア教育推進協議会 ①平成26年度キャリア教育推進事業について 本年度の事業計画, 各学年の取り組み 「総合的な学習の時間」について, その他 ②平成27年度キャリア教育推進事業について 事業計画, 「総合的な学習の時間」について その他</p>	
<p>平成27年 1月30日(金)</p>	<p>キャリア教育講話「労働法について」(3年生対象) 講師: 生徒指導サポーター 竹中 悦郎 長年の社内教育のご経験も交えながら、生徒が卒業後遭遇する労働法についてお話を頂く予定である。プレゼンテーション資料によりとてもわかりやすく、社会で役立つ内容となる見通しとなっている。</p>	

<p>平成27年 2月13日(金) 5・6校時</p>	<p>卒業生との懇談会(1・2年生対象) 講師:本校平成23~25年度の卒業生22名を 招いて実施した。 (就職21名,進学1名)</p>	
<p>平成27年 3月16日(月) 3・4校時</p>	<p>外部指導(1年生対象,職業希望別) 株式会社 HEXA 進路サポート事業部 2年生の就業体験や3年生での進路選択の参考 となるよう,職業別模擬体験授業などを実施し, 実際の職業における現状を実技も交えながらご 指導頂いた。</p>	
<p>平成27年 3月13日(金) 1・2校時</p>	<p>外部指導(2年生対象,進路希望別) 株式会社 HEXA 進路サポート事業部 就職:面接指導(少人数面接練習)など 大学短大:模擬授業 専門学校:分野別体験授業 公務員:受験対策</p>	
<p>平成27年 3月16日(月) 4校時</p>	<p>キャリア教育セミナー(2学年) 「進路に関わるお金の話」 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 竹田 昌隆 氏 就職・進学にかかるお金について,車・税金・年金等について 奨学金について,高卒と進学後の給料の差,進学のメリット</p>	
<p>3学年対象 4月25日(金) 5月 2日(金) 7月 9日(水) 10月31日(金) 11月28日(金) 平成27年 1月 9日(金) 他 2年生対象 平成27年1月中</p>	<p>その他 キャリア教育講話 講師:生徒指導サポーター 竹中 悦郎 キャリアアドバイザー 相川 和男(1月~) キャリアアドバイザー 佐々城瑞美 キャリアアドバイザー 和田 容子(~12月) 長年の社会人での経験も交えながら,進路達成 のための対策のみに留まらず,高校卒業後の長い人 生を見通した貴重なお話を数多く頂戴した。</p>	  

イ 平成27年度 主な活動報告（7月10日まで）

<p>2・3年 4月10日（金）</p> <p>1年 4月14日（火）</p>	<p>総合的な学習の時間オリエンテーション 全学年において実施される。</p> <p>1学年は3年間のキャリア教育についての説明。 生徒指導サポーターおよびキャリアアドバイザーの紹介も行われた。</p> <p>場所：視聴覚室</p>	
<p>4月10日（金）</p>	<p>鹿島台互市 見学（全校生徒）及び販売実習（2年） 地域連携の試みの一環として、今年度初めて全校生徒全員で地元鹿島台の互市を見学した。</p> <p>2年生「マーケティング」の販売実習として、約30名の生徒が参加した。また、3日間で245名の方にご来店いただいた。</p> <p>本校開発商品の「パリもちスティック」をはじめ、「仙臺サイダー」（仙台商業）、「ちーず心こ福」（一迫商業）、「きび団子（ほうじ茶味）」（石巻商業）、「たまげ大福だっちゃ（旧女川高校）」など、県内の商業高校等が開発した商品を販売した。</p>	  
<p>4月13日（月）</p>	<p>進路諸検査（2年）及び作文の書き方講習（3年） いずれも、今年度初の試みとして実施した。</p> <p>進路諸検査は、SG式一般職業適性検査及びSG式クレペリン検査を実施した。</p> <p>作文の書き方講習は、株式会社HEXA様にご協力をいただき、ほとんどの就職試験で実施される作文の書き方のノウハウについて、講習と実践を交えながらご指導いただいた。</p>	  
<p>第1回 4月26日（日）</p> <p>第2回 6月12日（金）</p>	<p>進路斡旋手続き説明会（3年保護者の皆様）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度卒業生の進路状況について 2 今年度の進路指導計画 3 就職及び進学のおすすめ条件等について 4 生徒の就職活動・進学に関するお願い 5 就職斡旋について （1）就職に向けての準備 （2）就職活動の流れ 6 公務員試験について 7 進学推薦（大学・短期大学・専門学校等）について 	

5月19日(木)

キャリアガイダンス(3学年)

①宮城県中小企業家同友会

「就職ガイダンス～業種・業界を知ろう～」

場所：仙台サンプラザホール

生徒は真剣な面持ちで全体講演(25分程度)及び各事業所の仕事等についてのお話を3社(1事業所20分)にわたり聞いていた。

②上級学校見学・体験授業参加

場所：仙台青葉学院短期大学(五橋キャンパス)

内容：学校説明・見学, ビジネスマナー講習

講師：准教授 小形 美樹 先生

講師 今井恵美子 先生

お辞儀の仕方や名刺の渡し方, 敬語の使い方, 態度・振る舞いなど, 大変シンプルでわかりやすくご指導頂くことができた。

3年生全員が参加した。就職ガイダンスは3年目の試みであり, 進路意識の高揚につながり, 大成功であった。



5月29日(金)

キャリアセミナー(全学年)

特定非営利活動法人ハーベスト









常務理事 中山 聖子 氏 他

1年生対象と2・3年生対象に分けて実施。

全学年において少人数の講座別を実施。

全日制課程の高等学校で, 全学年において実施しているキャリアセミナーは本校のみである。そのため, 本校生は卒業までに6講座を受講できる体制となっている。



<p>6月12日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(3学年) 講師：株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 東京IT会計専門学校仙台校 進路希望別(就職, 進学) (進学については、生徒個々の希望する進学先が講師：東北文化学園大学, 神奈川工科大学, 専門学校花壇自動車大学校, 専門学校デジタルアーツ仙台, 仙台総合ペット専門学校, 仙台コミュニケーションアート専門学校, 仙台医健専門学校, 仙台保健福祉専門学校, 仙台リゾート&スポーツ専門学校, 仙台こども専門学校, 仙台ヘアメイク専門学校, 専門学校赤門自動車大学校, 仙台大原簿記情報公務員専門学校)</p>	  
<p>6月12日(金)</p>	<p>第1回特別講話(1年) 講師：キャリアプランニング(株)代表取締役 桑名 暢 氏 今年度より、キャリアプランニング(株)代表取締役の桑名暢先生に、およそ月1回のペースで特別講話をしていただくこととなり、今回第1回を実施した。今回は、1年生全員を対象に、学校生活ですべきことや高校生・大学生などの就職試験の様子、さらには社会人として働いている方の現状について、シンプルにわかりやすくお話を頂いた。</p>	
<p>6月29日(月) ~30日(水) 8月26日(水) ~28日(金) 9月7日(月) ~8日(火) 9月14日(月) ※8月以降は予定</p>	<p>模擬面接指導(3学年 全4回) 第1回 3年生全員, 一人30分 第2回 就職希望者全員, 個人面接による 第3回 一人30分程度 第4回 一人15分程度 本校では、他校に例のないほどの模擬面接全体指導を年4回実施している。この他に、夏休み中をはじめ進路ガイダンス等で面接対策を実施。</p>	   
<p>7月3日(金)</p>	<p>進路ガイダンス(1学年) 全体講話および進路別講話 講師：株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 1年生全員に対する全体講話 進路希望別(就職・進学)講話, 自己分析講座</p>	

7月3日(金)	<p>進路ガイダンス(2学年) 全体講話および進路別講話 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 阿部有希子 氏 他 インターンシップにおけるディスカッション マナー実践, インターンシップの行き先について</p>	
7月14日(火) 実施予定	<p>高校生の就職を考える保護者セミナー(3年生全員) (主催:宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班) 講師:桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役, 特定 非営利活動法人仙台進路指導塾代表理事, 本校キ ャリア教育推進協議会委員) 3・4校時実施予定で保護者も参加予定である。</p>	
7月21日(水) 7月22日(水) 7月23日(水) 7月24日(木) 実施予定	<p>合同企業説明会(3学年) (7月21日(火))石 巻(石巻市総合体育館) (7月22日(水))塩 釜(塩釜市体育館) (7月23日(木))古 川(大崎市古川総合体育館) (7月24日(金))仙 台(仙台国際センター) 生徒は76名(1会場以上)の参加予定であり, 進路選択に役立てていく予定となっている。</p>	
7月21日(火) 本日実施	<p>平成27年度 第1回キャリア教育推進委員会 本校:会議室 ①平成26年度キャリア教育推進協議会活動報告 ②主な研究成果, 検証結果 ③平成27年度キャリア教育に向けての推進事業計 画案について ④第2回キャリア教育推進委員会に向けて ⑤意見交換</p>	
7月29日(水) 8月5日(水) 8月18日(火) 実施予定	<p>3年生出校日における外部講師指導など 講師:株式会社 HEXA 進路サポート事業部 内容:進路希望別(就職, 進学, 公務員) 履歴書指導, 模擬面接指導, 応募書類関係の指導 オープンキャンパスについての指導 など ※8月5日(水)については, 校内の先生方のみ で指導に当たる予定となっている。</p>	

ウ 主な活動報告

- ① 全学年対象の「総合的な学習の時間」によるキャリア教育（自作教材）
- ② 外部との連携に一層力を入れ、外部機関や人材の積極的活用の促進
- ③ 宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班など教育行政機関との密接な連携。
- ④ 宮城労働局・古川公共職業安定所をはじめとした各地のハローワーク等との密接な連携。特に、本校在籍生徒の居住地の約7割を占める仙塩地区にある仙台・塩釜ハローワークとの密接な連携。
- ⑤ 長年商業科の主幹で行っていた「就業体験（インターンシップ）」の指導の在り方について、平成26年度からの教育課程実施を視野に入れた検証と改善。
- ⑥ 卒業後4年以内の卒業生を対象とした就職先の定着状況や離職状況について、事業所や卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を実施し実態を把握。
- ⑦ キャリアセミナーの実施（特定非営利活動法人ハーベスト）
- ⑧ オリジナル教材の活用「起業家教育 課題解決プログラム（KEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシップ プログラム）」（自作教材、株式会社デュナミスの御指導・御助言がベースとなる。）
- ⑨ 宮城大学との連携 「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」
- ⑩ 学習成果発表会

エ 主な実施項目・成果・今後の課題

詳しくは、平成26年度 第2回キャリア教育推進協議会資料に掲載

- ① 「キャリア教育のページ」を本校ホームページの一環として準備した。
（平成27年4月15日に公開、随時更新を継続中）

宮城県鹿島台商業高等学校 キャリア教育のページ

長い人生を見通した質の高いキャリア教育を目指しております。

鹿島台商業高校は、質の高い特色ある
キャリア教育の充実に力を入れております！！

TOPICS

- 2015. 6.24 1年対象に特別講話(6/12)が開催されました
- 2015. 6.23 3年対象に進路ガイダンス(6/12)が開催されました
- 2015. 6. 3 全学年対象にキャリアセミナー(5/29)が開催されました
- 2015. 5.26 3年生を対象にキャリアガイダンス(5/19)が開催されました
- 2015. 5.20 『明るいま未来へ!!』(進路だより)平成27年度 第1号を掲載しました
- 2015. 5. 7 進路相談手続き説明会が開催されました
- 2015. 5. 7 大崎市鹿島台 春の互市において2年生が販売実習を行い

お問い合わせ先:キャリア教育推進協議会事務局
(宮城県鹿島台商業高等学校 進路指導部)

〒989-4104 宮城県大崎市鹿島台広長字空師前44
電話 0229(56)2664 FAX 0229(56)2461
Email: shinro@kasimadai-ch.myswan.ne.jp

キャリア教育推進協議会

②地元新聞・冊子・BSデジタルテレビ放送等に本校のキャリア教育に関して記事等が掲載された。

河北新報

平成27年3月30日（月） キャリア教育に関する文部科学大臣表彰について
平成27年4月11日（土） 大崎市鹿島台 春の互市における販売実習について

大崎タイムス

平成26年1124日（月） 本校生徒がプロデュースした「パリもちスティック」について
平成27年1月22日（木） 電話対応に係わるビジネスマナーセミナーについて
平成27年2月1日（日） 学習成果発表会について
平成27年2月8日（日） キャリア教育に関する文部科学大臣表彰について

ものづくり産業広報誌「オガレ！ACE」

平成27年3月 発行に掲載（Vol.04） みやぎ高校生入社準備セミナーについて

放送大学

放送授業・テレビ科目（BSデジタル放送）

「多様なキャリアを考える（'15）」第5回講義 本校のキャリア教育の取り組みについて
ア. 上記科目が開設されている年度の中において、毎年2回以上BSデジタル放送がされる。
イ. 放送大学の本部（千葉県千葉市美浜区若葉）及び全国各地の各学習センター・サテライトスペース・視聴学習室・全国各地の図書館等にもDVDが設置される。
ウ. 一般財団法人放送大学教育振興会においても、視聴内容がDVDにより販売されます。
エ. 放送大学のホームページにおいて、放送大学または放送大学大学院の学生であればインターネットで視聴できる。

③第8回 キャリア教育優良教育委員会，学校及びPTA 団体等文部科学大臣表彰

平成27年1月21日（水曜日）国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟国際会議室において表彰式が開催され，出席させていただくことができた。



(2) 平成27年度キャリア教育推進事業計画の作成に向けて

ア 活動のねらい

平成22年度より2年間、宮城県教育委員会主催「魅力ある県立高校づくり推進事業」の研究指定を受け、「大崎起業家マインド育成協議会」を「キャリア教育推進協議会」として継続運営した。平成24年度からは、文部科学省「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」として引き続き進めることができた。

現在「キャリア教育推進協議会」として継続運営し、1・2・3年「総合的な学習の時間」(1単位)(学校裁量の時間「OT」を継承)などの進路指導を中心としていきながら、平成26年度までの3年生「総合実践」(10月以降の3単位)を継承した学校設定科目である3年「地域ビジネスプランニング」(通年2単位)などの起業家教育も継続・発展させていき、生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」を推進したい。

なお、昨年度から就業体験の事前・事後指導は進路指導部が担当することとなり、今年度はキャリア教育・進路指導を強く意識した指導体制の構築をしていきたい。

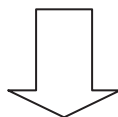
今年度は、平成24年度に「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の研究指定を受けてから4年目が経過した(研究指定の希望について申請済となっており、現在回答待ちの状況)。特に、質問紙調査などによりデータも取り入れながらの検証も行っている。この貴重な詳細データは、平成25・26年度の第2回キャリア教育推進協議会の資料にも掲載させていただいた。この貴重なデータを生かし、計画の作成を行った。

活動のねらい

1 「キャリア教育」を推進する組織的・系統的なカリキュラムの編成

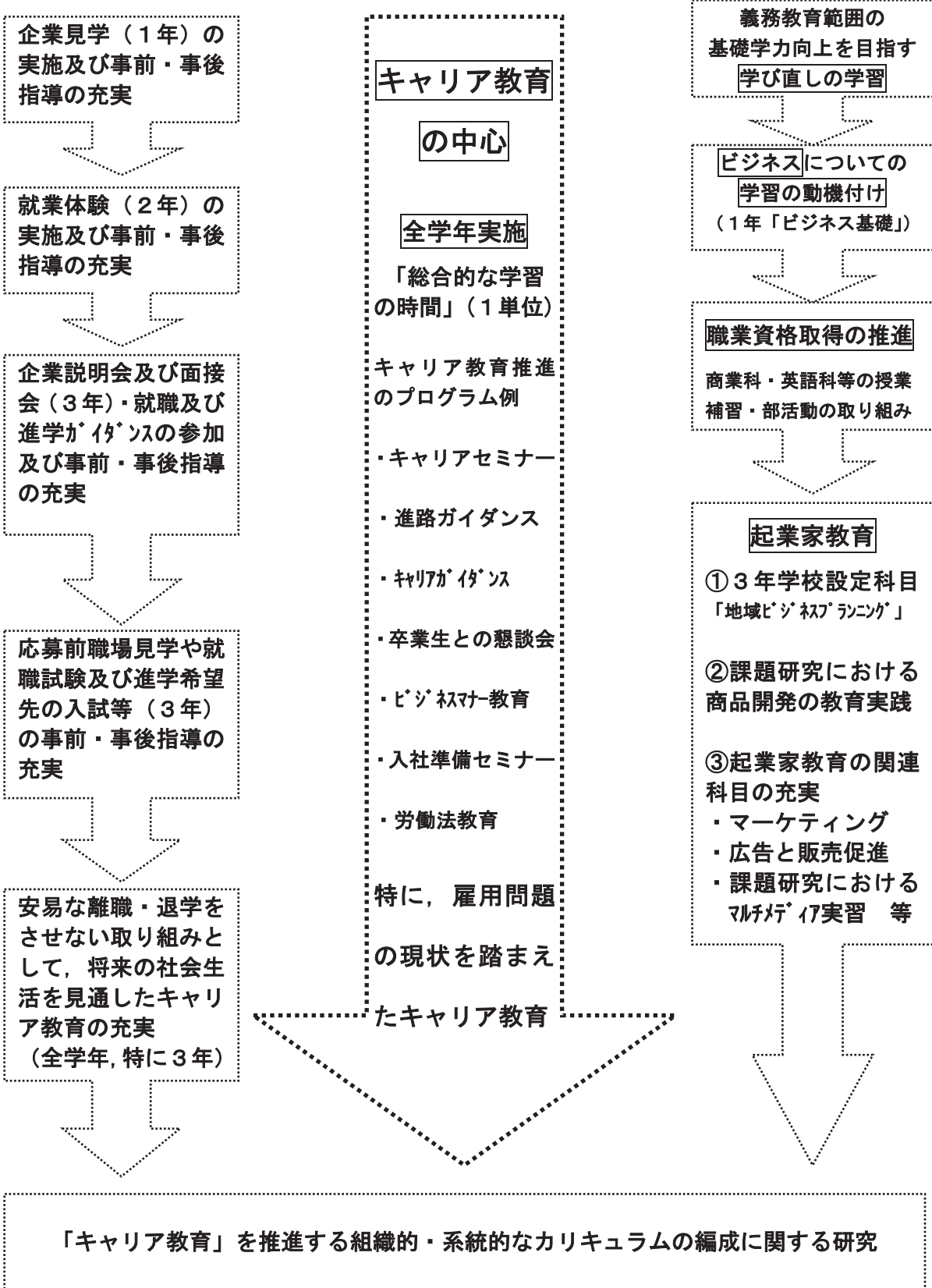
2 「進路指導」を中心に「起業家教育(アントレプレナーシップ・商品開発等)も

系統化された学習体制の確立



生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」の推進

イ 「キャリア教育」を実践する主な内容及び科目等について



ウ 本校のめざす「キャリア教育」の全体像（本校の「平成27年度 志教育全体計画」）

校訓 努力以て道を拓き 誠実以て衆に奉ず

本校の教育目標

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民を育成する。

- (1) 幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う。
- (2) 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主自律の精神と勤労を重んずる態度を養う。
- (3) 商業に関する基礎的、専門的な知識と技能を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

生徒の実態、教師の願い
・確かな学力と社会人基礎力を身につけ、進路目標を達成したい。

育てたい生徒像

- ・基本的な生活習慣が身についている生徒
- ・家庭学習習慣を身につけ、努力ができる生徒
- ・授業に意欲的・積極的に取り組む生徒
- ・のぞましい勤労観と職業観を持った生徒
- ・検定取得に努力し、3級に合格できる生徒

保護者や地域の願い

- ・地域社会に貢献できる人材の育成。
- ・豊かな人間性と一般常識を身につけてほしい。

「志教育」の目標

自信と誇りを持たせ、目標に向かって充実した学校生活を送らせる。
自己理解を深めさせ、現実感のある進路選択の知識と能力を育成する。

今年度の重点指導事項

- 【人と「かかわる」】
- ・ホームルーム活動を通じて、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。
 - ・起業家教育を推進し、地域の人との交流を通じて、自己理解や他者理解を深化させる。
- 【よりよい生き方を「もとめる」】
- ・系統的なキャリア教育に取り組み、社会に役立つ人間としての在り方を追求させる。
 - ・基礎学力の定着をはかり、学校で学ぶ知識と社会と職業との関連を実感させる。
- 【社会での役割を「はたす」】
- ・学校行事に積極的にかかわり、組織の中での自分の果たすべき役割を認識させる。
 - ・部活動に活発に取り組み、集団の中で自分の役割を果たすことで自己有用感を高める。

各学年の指導目標（主な活動、指導内容）

1 学年	2 学年	3 学年
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・早期に高校生活に順応させる。 ・自己分析を土台にして将来を考えさせ、調べ方を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自分を考えさせ、具体的な行動に移らせる。 ・勤労観、職業観を深めさせ、就業体験を通して理解させる。 ・進路実現の準備を開始させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて具体的に行動させる。 ・人生設計を踏まえて、高校生活ですべき事柄を理解させる。 ・適正な職業選択を図る。
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・職業探索学習 ・企業見学、販売実習 ・卒業生との懇談会 ・キャリア教育講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・就業体験 ・就職ガイダンス ・ビジネスマナー講習会 ・卒業生との懇談会 ・キャリア教育講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力確認テスト ・進路ガイダンス ・キャリアセミナー ・職場見学、オープンキャンパス ・模擬面接指導 ・合格体験記作成 ・キャリア教育講話（労働法、資金管理等）

各教科や資格取得	特別活動	総合的な学習の時間 および校外学習	家庭・地域・企業との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教科で興味、関心を高め、学習意欲の向上をはかる。 ・商業科目での資格取得を意識した指導の実施 ・習熟度別、TTの実施で基礎学力の定着をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動を計画的に実施し、クラス内での人間関係形成をはかる。 ・生徒会活動を活性化させ、自主的行動による行事を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を計画的に実施し、ワークシートや各種資料を有効的に活用する。 ・就業体験を重視し、事前、事後指導を重点化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なPTA活動の実施 ・「鹿島台互市」や夏祭りへの積極的な参画。 ・地域連携型キャリア教育モデルとしての「キャリア教育推進協議会」の運営

指導上の留意事項 生徒のコミュニケーション能力の育成が「志」を育成する上で有効であるため、すべての指導で重要視する。

エ 平成27年度における主な活動計画

- ①全学年対象の「総合的な学習の時間」によるキャリア教育（自作教材について一層の充実を目指す）
- ②外部との連携に一層力を入れ、外部機関や人材の積極的活用の促進
- ③宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班など教育行政機関との密接な連携
- ④宮城労働局・古川公共職業安定所をはじめとした各地のハローワーク等とのさらなる密接な連携に力を入れる。特に、本校在籍生徒の居住地域の約7割を占める仙塩地区にある仙台・塩釜ハローワークとの密接な連携も引き続き重視する。
- ⑤中小企業家同友会等との連携も含め、各企業等の事業所との密接な連携等を通じて、昨今社会問題となっている若年者の離職問題についての対策を積極的に行う。
 - ・離職問題に対応するためのデータ等の情報収集も一層促進する。
 - ・昨年度に引き続き、卒業後4年以内の卒業生を対象とした就職先の定着状況や離職状況について、事業所や卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を実施し実態の把握に努め、課題解決のための一助とする。
 - ・全学年実施の「総合的な学習の時間」等で、労働問題に関する教育を一層充実させる。
- ⑥進学した卒業生への追跡調査等を行い、専門学校等の進学先の実態を把握し、データ等の情報収集も一層促進していきながら、今後のキャリア教育・進路指導に生かしていくための一助とする。
- ⑦「就業体験（インターンシップ）」の指導の在り方について、キャリア教育の面から指導体制等について一層の強化を行う。
- ⑧3年連続で実施予定の全学年によるキャリアセミナーを行う。
- ⑨ビジネスマナー教育についての強化・改善に努める。特に、秘書サービス接遇関係の指導方法についてより積極的に取り入れていく。
- ⑩本校のキャリア教育実践の原点である起業家教育についての一層の充実に努める。
 - ・オリジナル教材「起業家教育 課題解決プログラム（KEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシップ プログラム）」を活用する。
 - ・来年度より学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（2単位）実施にともない教育内容を一層充実させ、身につけさせたい社会人基礎力養成の一助とする。
 - ・宮城大学との連携 「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」も引き続き行う。
 - ・商業科を中心とした起業家教育関連科目「ビジネス基礎」「課題研究（特に商品開発やマルチメディア実習の内容）」「マーケティング」「広告と販売促進」等の教育実践内容を充実させる。
- ⑪学習成果発表会の実施
- ⑫キャリア教育のホームページやマスコミ・雑誌等により、本校のキャリア教育の取り組みを積極的に発信させていく。
- ⑬キャリア教育推進協議会の実施

オ 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業 事業計画書等について（一部転載）
（様式1）

東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業
事業計画書

学 校 名	宮城県鹿島台商業高等学校
校 長 名	上 総 通
事業担当（職・氏名）	教諭 青 野 也寸志
庶務担当（職・氏名）	主幹兼事務次長 伊 藤 亮 一
電 話 番 号	0 2 2 9 - 5 6 - 2 6 6 4

1 各校での事業テーマ

勤労観・職業観を深めさせ、地域の復興を担う人材としての志を高める〔地域貢献の志を育む〕

商業の専門性を深めさせ、地域に貢献できる人材を育てる〔専門性の深化を図る〕

2 事業の目的

(1) 事業の目的

取組 1

3年間の充実したキャリア教育・進路指導を推進することにより、地元(県内)就職100%を目指す。

取組 2

生徒のキャリアデザインの意識を向上させ、3年以内離職者を全国平均を下回る30%台を目指す。

震災復興を担い地域に貢献できる専門性も兼ね備えた人材を育成するには、魅力あるキャリア教育の一層の充実を目指すことである。

本校では「総合的な学習の時間」をキャリアの時間として活用し、3年間の系統的なキャリア教育・進路指導の中核として行っている。

この事業を実施する前の平成23年度までは、応募前職場見学も少なく、アルバイトや縁故就職など安易な進路選択をする生徒が少なくなかった。本校が10年以上にわたり実践してきた起業家教育を柱としたキャリア教育では、就職内定率が低く、離職率が高い現状を立て直すことは困難であるため、進路指導の根本的な立て直しを行い、質の高い進路指導をキャリア教育の中心とした。同時に本校の特色ある起業家教育の取り組みも引き続き充実させていくこととした。

そのようなことから、平成24年度からのキャリア教育では、進路指導の充実にかなり力を入れ、教育内容の徹底的な見直しと根本的な立て直しを図ってきた。雇用問題の現状を踏まえて教育内容の充実・改善を行いながら、特に、外部の方々をお招きする機会を大幅に増やしたことにより、生徒がより真摯な気持ちで取り組むようになった。この事業では、様々な外部の方々との接する機会を充実させることにより、特に、勤労観・職業観の育成を置き、復興を担う人材としての志を高めさせる。

さらに、卒業生の就職後の状況を過去4年間の卒業生全員及び事業所を対象に調査し、全教職員が年間を通して事業所へ積極的に訪問し情報交換を行うことにより、就職した卒業生全員の様子を把握・検証を行い、事後指導としてだけでなく、在校生へのキャリア教育・進路指導にも役立てるよう更なる充実や改善を行う。

取組 3

地域連携を充実させるため「キャリア教育推進協議会」を組織し、様々な場面での連携を深める。

魅力あるキャリア教育の推進のために、校外の方々に、提言やご助言を頂くとともに、

本校のキャリアの時間での外部講師等としても、積極的にかかわっていただくために協議会を設置、開催する。

まず、校内にキャリア教育推進委員会を設置し、外部協議会であるキャリア教育推進協議会の開催へ向けての原案づくりを行なう。推進協議会は、校外の学識経験者・地元企業・キャリア教育を推進している特定非営利活動法人団体及び企業・東北経済産業局・地元公共職業安定所・県教育委員会・市役所の担当者などにより構成し、年2回開催する。

これにより様々な教育活動の中で、地域連携を充実させ、更なる連携の可能性も期待できる。

取組4

起業家教育の充実を図り商業の専門性の深化を目指す。そのため、教職員の研修も充実し資質を向上させるとともに、地域貢献活動を推進する。

本校は、キャリア教育の中でも進路指導における内容を中心としているが、商業に関する専門高校として、専門性を深化させることが必要不可欠であることから、昨年度に引き続き専門教育プログラムを設けた。

ビジネス基礎やマーケティングに加えて、広告と販売促進・課題研究（例：商品開発・マルチメディア・秘書）・地域ビジネスプランニング（学校設定科目）など特色ある商業科目を設定して教育実践を進めたい。また、郷土の復興・再建のみならず、地域の企業・行政などとの連携をより深め、地域の資源を活かしたビジネスプランの提案や商品開発など、より具体的な地域貢献の取り組みを行う。専門性の深化を図りながら、地域と生徒を繋げることにより、復興を担う人材としての志を高めさせると同時に、コミュニケーション力の向上にもつなげていく。

また、この事業を充実発展させるためには、教職員の資質向上が必要不可欠であり、個々の教員のキャリアステージの在り方も重要である。この事業を実施した平成24年度以降、様々な研修の機会をとらえて充実させてきたことにより、教職員の資質向上と、各方面の専門家との連携を密にしてきた。

今年度は、これまでの研修を継続的に生かしていくことを前提に、さらに充実した教科商業の専門性を深めるための研修を実施していきたい。まず、全国各地での商業教育の先進事例の研究発表でもある全国高等学校生徒商業研究発表大会の視察を行う。この全国高等学校生徒商業研究発表大会は、地域と連携した商品開発など、商業料の特性を生かした取り組みなど教科商業の専門性を深める上で、大変貴重な機会である。

また、進路指導関係では、最新の雇用問題を知る機会として、労働政策フォーラム（独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT））へ参加を計画したい。他にも、キャリア教育の推進のための地域と連携した学校づくりや、キャリア教育の指導の在り方を探るためのキャリア教育推進連携シンポジウム、大阪商業大学の起業教育研究会等、数多くの視察を引き続き行う。

（2）昨年度の実施内容との比較

（ア）起業家教育プログラム及び専門教育プログラム、キャリア教育に関する外部研修プログラムの更なる充実を図る。本校はキャリア教育の中でも進路指導における内容が中心となっており、進路指導からキャリア教育へ流れた歴史的経緯も重視したセオリ

一に沿った教育を行っている。しかし、商業に関する専門高校として、より一層特色のある教育を目指し、専門性を深化を図ることが昨年度に引き続き必要不可欠である。今年度は、ビジネス基礎やマーケティングなどに加えて、今年度から新たに実施される起業家教育の中核となる学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（3年）の充実や、「広告と販売促進」（3年選択科目）、昨年度より継続の「課題研究」（2年）における商品開発やマルチメディア実習、秘書などの教育内容の更なる充実を図ることにより、特色ある商業科の教育実践を目指していききたい。また、簿記会計教育において、将来のスペシャリストを目指しての基礎的学習を強化していくために、平成28年度以降3年間にわたり、かつてないほどの大幅な改訂となる日商簿記検定2級の出題範囲改定に伴う『簿記指導者講習会』（大原簿記学校）の研修も新たに計画をした。

（イ）起業家教育プログラム及び専門教育プログラムにおいて、6つの企業に協力をいただき、講話に加えて生徒とディスカッションする機会である「企業ミーティング」「中間報告会」を新たに計画していききたい。また、協力企業（6社予定）それぞれによりミッションを設定していただき、協力企業や地域の資源を活用して、新しい商品のアイデアを考案していききたい。

3 事業の内容等

（1）「キャリアの時間」プログラム（週1時間・全学年）【繋げる】【深める】【高める】 ア 目的

勤労観・職業観を育み、進路選択や決定はもちろん、将来の生き方・在り方について学ばせる。

イ 内容

「総合的な学習の時間」は週1時間、各教科の授業やLHRなどとは別に設定された時間であり、全学年独自に作成された勤労観・職業観を育む「キャリアの時間」として学校独自プログラム教材で実施し、3年間系統的なキャリア教育を実施していく上で中核となっている。

特に、本校では平成24年度より、キャリア教育の取り組みについて大幅な見直しを図り、内容の充実・強化を行い、雇用問題等の現状を踏まえながら、進路選択や決定はもちろん、将来の生き方について具体的できめ細やかな内容で実施している。職業とはなにか、社会人に求められるもの、自分史・将来設計、社会人の考え方、職種理解、求人票の見方と履歴書、面接試験対策、社会人への準備などを行っている。

「キャリアの時間」を経験した本校の生徒は、卒業後の進路や新しいキャリアを意識できるようになり、会話の中に進路や将来のキャリアについて意識した話がよく聞かれるようになってきている。また、職業について表面的なイメージではなくより具体的に考えられるように、きめ細かなワークシートや指導案等による指導を行っている。

指導形態はクラス単位に留まらず、2年生の2月以降では、就職、進学（大学・短大・専門学校）、公務員という進路別について外部講師を招いての指導も積極的に進めていきたい。また、全学年にわたり外部から魅力のある講師の講話や講座も数多く実施し、キャリア教育の充実・強化を行う。生徒は外部の方々からの指導に対して、良い意味で緊張感を持って取り組む様子が目立つなど、良い効果がさらに表れるよう取り組んでいきたい。取り組みを行うにあたっては、事前・事後指導を充実させるとともに、クラス毎の全体指導に留まらず、きめ細かい個別指導に一層留意していききたい。また、どの教員が担当

しても同質の内容を提供できる指導案やワークシートとなるよう指導法の研究を怠らなく行っていきたい。

キャリア教育としての「総合的な学習の時間」は、高等学校学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容をもとに、総合学科で実施している「産業社会と人間」や、大学・短大・専門学校などの高等教育機関のキャリア教育の実践事例も参考としながら、充実した時間としていくよう留意していきたい。今まで以上に教職員全員で知恵を振り絞り、ワークシートや各種資料も含めた教育内容の充実や改善、教材研究や指導方法の研究を継続的に進めていきたい。

外部の方々の効果的な活用についても、一層より良いものとするために人的ネットワークの構築をより強化していき、地域をはじめ外部との連携により一層力を入れていきたい。

特に、特定非営利活動法人 ハーベスト様の全面支援により行っている「キャリアセミナー」は、本校のキャリア教育の看板として継続していきたい。このキャリアセミナーは車座形式より実施しており、遠い将来の人生の生き方や在り方を考えるきっかけになると願い開催している。本校では、1年生から3年生までの全学年を対象としており、宮城県内の全日制高等学校では本校のみが全学年対象で実施している

また、キャリアプランニング株式会社の桑名暢氏には、平成26年度より本校のキャリア教育推進協議会委員として外部講師等でのかかわりを複数回、また、進路指導においても多くのご助言を頂いた。平成27年度については、「キャリアの時間」にも多くのかかわりを持たせて頂く予定となっており、年間の約3分の1程度を桑名氏も含めた外部講師をより積極的に活用し、実施していきたい。

3年間の系統的なキャリア教育を充実させるためには進路指導部全員の指導力向上が必要不可欠であり、さらに、指導案や教材・ワークシート等については、書籍やホームページ等の情報収集や、外部の研修会への積極的な参加をより一層進めていき、進路指導・キャリア教育のプロとしての自覚を持って研鑽を行っていきたい。

1 学年	2 学年	3 学年
①独自教材の作成 高校生活への目標 自己分析・他己分析 職業とはなにか 社会人に求められるもの 自分史・将来設計 人の生き方 ②キャリアカウンセリング 生徒個々の状況を理解しその発達を支援する ③研修 キャリアセミナー 5月	①独自教材の作成 自己の特性や特徴 高卒就職の現状 社会人の考え方 職種の理解 就業体験事前・事後指導 ビジネスマナー ②キャリアカウンセリング 生徒個々の状況を理解しその発達を支援する ③研修 キャリアセミナー 5月 進路ガイダンス 7月 外部講師講話 7月以降 ビジネスマナー講習会	①独自の教材作成 これまでの高校生活 将来設計 求人票の見方と履歴書 進路希望先の研究 ビジネスマナー 面接試験対策 進路プランの修正 社会人への準備 労働法講話 ②キャリアカウンセリング 生徒個々の状況を理解し、その発達を支援する ③研修 キャリアガイダンス 5月 キャリアセミナー 5月

外部講師講話 5月以降 進路ガイダンス 7・12月 企業見学10月 学習成果発表会1月 卒業生懇談会2月 等	10月 ビジネスマナー実技講習会 10月 就業体験11月 電話応対に係わるビジネス マナーセミナー1月 学習成果発表会1月 卒業生懇談会2月 等	進路ガイダンス6月 外部講師講話7月以降 入社準備セミナー1月 学習成果発表会1月 年金・資金管理講話 11月以降 等
---	--	---

ウ 対象

全校生徒（1学年から3学年生徒全員）・全教職員

エ その他

今年度も「キャリアの時間」を3年間の系統的なキャリア教育・進路指導について、引き続き見直しを含めて、改善をしながら進めていきたい。また、進路ガイダンスや外部講師の効果的な活用についても、一層より良いものとするために適切な計画をしながら教育の実践を行っていききたい。

（2）就業体験（インターンシップ）プログラム【繋げる】【高める】

ア 目的

勤労観・職業観を深めさせ、地域への理解と感謝の心を養う。

将来の進路選択に役立てるとともに、人としての在り方・生き方を考えさせる。

ビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上を目指し、人間性豊かな社会人としてのビジネスマナーやモラルを身に付けさせる。

社会人として生きていくための自覚と覚悟を高めさせる。

イ 内容

2年生全員が地元地域を中心に生徒の個に応じた体験先を決定し就業体験を実施する11月（3日間）。また、就業体験（インターンシップ）事前指導としてのビジネスマナーの習得をはかるため、ビジネスマナー指導の専門家による実技も含めた外部講師指導10月や就業体験先についての学習などの事前指導・事後指導を行いたい。

就業体験は、勤労観、職業観を深めさせ、将来の進路選択及びキャリアデザインに役立てるとともに、人としての在り方・生き方を考えさせることなどができるものである。生徒も事業所に迷惑を掛けないよう一生懸命に頑張ることができ、期間中は事故などなく無事に終わることができるよう事前指導に留意していききたい。

また、就業体験（インターンシップ）事前指導としてのビジネスマナーの習得をはかるため、昨年度に引き続き、ビジネスマナー指導の専門家による外部講師指導「ビジネスマナー講習会」「ビジネスマナー実技講習会」10月や就業体験先についての学習などの事前指導・事後指導を行いたい。

今年度の就業体験では、これまで使用してきた教材や資料・ワークシートに工夫を重ねてよりよい内容にし、さらに指導体制も永続的に行うことができるようなシステムの構築を目指していききたい。

昨年度までの課題を過去10年間のアンケート結果から振り返ってみると、挨拶や態度、身だしなみ、言葉遣いといったビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上に関する

教育に力を入れてほしいといった指摘が多くあった。

そのような就業体験先からのアンケートの内容を踏まえながら、ビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上を目指し、事前および事後指導の充実に努め、人間性豊かな社会人としてのビジネスマナーの向上や人柄育成を行っていきたいと考えている。

特に、本校のビジネスマナー教育については、秘書サービス接遇検定などを実施している実務技能検定協会や高等教育機関でご指導されている先生方など外部の専門家と連携をしていく体制が構築されている。

ウ 対象

2 学年生徒全員・全教職員

エ その他

ビジネスマナーの指導については、今年度も秘書サービス接遇関係の著名な専門家である福島学院大学学長補佐・短期大学情報ビジネス科長兼教授の小松由美先生にご指導頂きたいと計画をして考えている。挨拶や礼法・言葉遣いについて、秘書教育の手法も取り入れた指導を限られた時間の中に取り組みなど、より改善をしていきたい。

平成24年度以降の3年生や卒業生からは、この「就業体験学習」の経験が、多くの場面で生かされているとの声をよく耳にしている。これからも、より良いキャリア教育の推進に向け、創意工夫をしていきたい。

長年お世話になっている就業体験受け入れ先の事業所を今後も大切にしていきながら、就業体験先として受入体制ができていく事業所の見極めが特に重要であると考えている。

就業体験は、最大3日間で自分に体験した仕事に適職であると判断することは難しいが、今年度の2学年においては、担任に二者面談を繰り返し行ない、さらに、新たに職業適性検査等を実施し、自分を知ることや自分の職業適性を知ることにより、進路選択の参考とするとともに、就職時のミスマッチ防止の一つとして意義ある取り組みとなるといえる。

(3) キャリアカウンセリングプログラム（全学年）【繋げる】【深める】

ア 目的

進路指導・キャリア教育において重要視されている進路相談・キャリアカウンセリングを行い、将来の生き方・在り方を考えさせ、適切な進路情報の提供及び進路選択を行うことができるよう支援を行う。

イ 内容

二者・三者面談（全学年）5～8月・12月，ハローワークによるジョブサポーター面談（3年）12～1月，生徒指導サポーター・キャリアアドバイザー面談（2・3年）5～7月，2～3月などを行う。

ウ 対象

全校生徒（1学年から3学年生徒全員）・全校生徒の全保護者

エ その他

キャリアカウンセリングの充実は大変重要なことである。心の問題に真摯に向き合っていくには、心理学に裏付けられたアプローチも必要である。昨年度まで取り組んできた内容をより一層充実・強化を行い、生徒のキャリアデザイン構築への支援を行っていきたい。

本校では、臨床心理士によるカウンセリングを受けることのできる環境は整っているが、キャリアカウンセリングの体制づくりについては、時間と機会の許す限り力を入れていきたい。また、進路未決定者を対象とした個別面談を古川公共職業安定所のジョブサポータ

一の方々にして頂くことを計画している。ジョブサポーターの方々もキャリアカウンセリングの専門家として心理学的視点からのアプローチが可能であることは大きい。さらには、宮城県中小企業家同友会主催の就職ガイダンスや宮城労働局・ハローワーク主催の合同企業説明会での事業所との面談など、実際に働く社会人の方々と接していく機会を数多く設けていきたい。

その他にも、日々の学校生活においては、担任をはじめ全教職員で、全学年対象の二・三者面談など、生徒の様子を観察しながらきめ細かい指導や相談を行っていきたい。進路指導・キャリア教育では、特にキャリアカウンセリングは重要であり、教職員のかかわり方の在り方が問われてきている。特に本校では、人生経験豊かな生徒指導サポーターとキャリアアドバイザーの職員2名を中止としてキャリアカウンセリングに大変大きな役割を果たしていくよう取り組んでいきたい。

今後は引き続き、進路情報など資料の充実を図り、個々に最適なアドバイスが可能になるよう、進路室の環境整備も充実させたい。

(4) 専門教育プログラム【繋げる】【高める】

ア 目的

商業に関する専門高校として、より一層特色のある教育を目指し、専門性を深めさせることができるよう充実・改善を図る。

イ 内容

ビジネス基礎やマーケティングに加えて・課題研究（商品開発・マルチメディア実習・秘書など）・広告と販売促進・学校設定科目の地域ビジネスプランニングなど、特色ある商業科目の教育実践を目指す。特に、生徒の実態に応じて、(5)の起業家教育プログラムなどとも結びつけさせながら進めていく。また、授業だけでなく、課外活動である簿記部などでも職業資格取得も推進していく。特に、進んで意欲的に取り組む生徒に対しては全商簿記検定1級や日商簿記簿記検定2級など上位の職業資格取得のための指導を推進していきたい。さらに、昨年度に引き続き、秘書概論の生徒などを対象に2年生のビジネスマナー講習会終了後、放課後にビジネスマナーの特別指導を実施する予定【10月】となっており、短時間ではあるが、専門家による秘書教育を取り入れた専門教育の機会を設けていきたい。

ウ 対象

全校生徒（1学年から3学年生徒全員）・全教職員

エ その他

今年度については、昨年度まで実施していた(7)キャリア教育に関する外部研修プログラムにある起業教育研究会や全国高等学校生徒商業研究発表大会の視察等はもちろんではあるが、今年度、将来のスペシャリストを目指しての基礎的学習を強化していくために、平成28年度以降3年間にわたりかつてないほどの大幅な改訂となる日商簿記検定2級の出題範囲改定に伴う『簿記指導者講習会』（大原簿記学校）の研修も新たに計画をした。

(5) 起業家教育プログラム【繋げる】【高める】

ア 目的

起業家教育プログラムの目的は、商品開発や販売体験などの経済活動を題材とした問題解決学習を通して、生徒が自ら課題を見つけ解決していく過程の中で、起業家精神や起業

家的資質・能力を育成することにある。起業家精神とは、未来を切り開くチャレンジ精神であり、創造性や探究心、そして自信をともなうものである。起業家的資質・能力とは、課題を解決するため、情報を収集し分析する力、協同して取り組むチームワーク力、さらに、リーダーシップ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力等を指している。

これらの力は、企業を立ち上げる起業家だけに必要な力ではなく、社会の中でよりよく生きていくために、だれにでも必要な力であり、特にこれからの社会を担っていく生徒たちが身に付けるべき基本的な力であると言える。

イ 内容

新たに設けられた本校の起業家教育の中核を担う学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（2単位・3年）**4月～2月**において、「鹿島台商業高等学校アントレプレナーシッププログラム」（通称：KEP）により、地域と連携した商品開発やビジネスプランの提案を行うなどの起業家教育を実施したい。

地域の協力企業からのミッションを受けて、それらを解決するものとして校内で商品などの開発を企画検討し、提案を行なう。その過程の中で、宮城大学と連携し、「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」（3年）**11月**を行いたい。また、生徒自らが学習成果を全校生徒の前で発表する学習成果発表会**1月**を行いたい。発表会には協力頂いた外部団体の方々などにも参加を頂く予定となっている。

また、今年度は、6つの協力企業にご来校いただき、講話とともに生徒とディスカッションする機会である「企業ミーティング」**9月**及び「中間報告会」**11月**を新たに計画していきたい。協力企業（6社予定）それぞれでミッションを設定し、協力企業や地域の資源を活用して、新しい商品のアイデアを考案していきたい。

さらには、昨年度まで実施されており、今年度も実施される「ビジネス基礎」や「マーケティング」などとともに、今年度新たに実施される「広告と販売促進」（3年選択科目）、昨年度よりさらに充実させる予定の「課題研究」（2年）における商品開発やマルチメディア実習等の教育内容の更なる充実を図り、起業家教育の中核を担う学校設定科目「地域ビジネスプランニング」につなげていくことも視野に入れながら、特色ある商業科目の教育実践を目指していきたい。

特に、「課題研究」（2年）における商品開発やマルチメディア等、「ビジネス基礎」（1年）、「マーケティング」（2年）、「広告と販売促進」（3年選択科目）での、様々な活動の成果を本校の Twitter のページ（@ kashoukou）による情報発信するとともに、地元（宮城県大崎市鹿島台）行事である互市における販売実習など、地元を大切にし、様々な方々との連携をしていきながら、特色ある取り組みを行いたい。

平成27年度実施の科目「地域ビジネスプランニング」（2単位）の指導計画は以下のとおりである。

月	学 習 内 容	備 考
4	① オリエンテーション ・学習内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業との打ち合わせ ・ミッション（課題）の設定 ・<u>ミッション映像の撮影</u>
5	② プレゼンテーション学習 ・PowerPointの使い方 ・効果的なスライド（発表資料）作成	
6	・シナリオ（発表原稿）作成 ・伝わる話し方の練習 ・プレゼンテーション演習	
7	③ 起業家教育オリエンテーション ④ ミッション（課題）発表 ⑤ チーム編成・アイスブレイク ⑥ 担当テーマ・担当企業の決定 ⑦ <u>「企業訪問」</u> （※夏季休業中）	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業訪問」日程調整 ・生徒が担当企業を訪問させていただき、見学や体験を行う
8	⑧ ミッションの背景を探る ・テーマに隠された課題の原因を推測する	
9	⑨ <u>「企業ミーティング」</u> ⑩ アイディアのコンセプトを考える ⑪ 企画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業に来校していただき、生徒とディスカッションする
10	⑫ 「中間報告会①」 ⑬ アイディアを改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に来校していただき、生徒とディスカッションする
11	⑭ <u>「中間報告会②」</u> ⑮ アイディアを完成させる	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業に来校していただき、生徒とディスカッションする
12	⑯ プレゼンテーションプランの作成 ⑰ プレゼンテーション資料の作成	
1	⑱ プレゼンテーション・リハーサル ⑲ <u>「学習成果発表会」</u> ⑳ 活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会に参加していただき、生徒のプレゼンに対して講評をいただく

ウ 対象

全校生徒（1学年から3学年生徒全員）・全教職員

エ その他

昨年度までの起業家教育の経緯は以下の通りとなっており、平成24年度に大幅な見直しを行った後は、前年度の内容を基に3年間実施してきた。平成27年度においては、さらに充実させていきたい。

① プログラム（教材）

「**鹿島台商業高等学校アントレプレナーシッププログラム**」

（KASHIMADAI commercial high school Entrepreneurship Program 通称：KEP）

地域ビジネスプランニング（起業家教育の中核となる科目・3年）

広告と販売促進（3年，実習部分），課題研究（2年，マルチメディア実習）など

「**起業家教育に関連した独自教材**」（起業家教育の中核となる「地域ビジネスプランニング」につなげていくことも視野に入れた科目）

課題研究（2年，商品開発など），広告と販売促進（3年，座学部分），ビジネス基礎（1年）など，マーケティング（2年）

② 本プログラム活用 の経緯

本校の起業家教育は、主に平成26年度まで「総合実践」（3年）の授業内で10月以降の半年間で実施していた。平成27年度からは、学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（3年）において、4月より授業展開していくこととなり、本校の起業家教育の中核を担う科目となった。

これまでの経緯は、平成24年度は、本校で作成し活用している教材を、グループ活動の活性化と思考力や創造力の向上をねらいとした内容に改編した。

平成25年度は授業実践時の、グループ活動では、生徒はおおむね活発にコミュニケーションをとっており、ロジックツリーなどの思考技術を体験することによって、物事を深く考えることもできていた。

平成26年度は、引き続き生徒に提示するミッション（課題・テーマ）を平成25年度と同じものに設定し、全体の指導計画についても、前年度の授業実践での授業担当者と生徒の反応を踏まえて、本校の生徒の実態に合わせた内容に改善していた。

③ 教材「鹿島台商業高等学校アントレプレナーシッププログラム」について

平成24年度から、それまで使用していた自作教材の精度を上げるために、内容を大幅に変更した教材「鹿島台商業高校アントレプレナーシッププログラム」を作成し活用した。

主な変更点は、生徒がグループ活動によって地域の特産品を活用した新しい商品を考案する際に、企業の意思決定の場や企画会議などで活用されている「フレームワーク」を取り入れたことである。

フレームワークをグループ活動に活用するメリットは、物事を幅広く考えることができることや、思考の過程を説明しやすくなること、グループ内でのコミュニケーションが活発になるなどが挙げられる。

実際に活用したフレームワークは次のとおりである。

アイスブレイク	チームワークを高めるゲーム
ロジックツリー	思考過程を樹形図で表現し、幅広く深く考える思考法
ブレインストーミング	多くのアイデアを生み出す集団発想法

ワールドカフェ	メンバーの入れ替えを複数回行う話し合いの方法
KJ法	多くの情報を整理・収束・結合させる方法
衆目評価法	投票形式による意思決定法
6W3H	アイデアを具体的にする項目

これらのフレームワークを活用したことによって、活動に多様な動きが生まれ、グループ活動は活発に行われたと思われる。また、ホワイトボードシートや付箋紙、シールなどの教具を使うことによって、多くの意見や思考過程が見やすくなることから、話し合いがスムーズに進んでいた。特に印象的だった場面は、ブレインストーミングとワールドカフェを併用し、アイデアを考案する話し合いを繰り返し行った際で、クラス全体ですべてのチームのアイデアを考案しようという雰囲気を感じられた。

④ 平成26年度までの生徒の実態および課題について

フレームワークを活用することにより、グループ活動が活性化され、活動に臨む生徒の様子は年々変化してきている。

具体的には、グループ活動のように集団の一員として活動することを苦手としている生徒が顕在化したことである。話し合いなどの場面で、自分の意見が言えなかったり、グループのメンバーとコミュニケーションを取りながら作業を進めたりすることができないため、静かにして時間が過ぎることを待っているか、授業とは関係のない会話や行動をして、グループに迷惑をかけてしまっている。こうした生徒に対しては、社会に出てからの仕事は、ほとんどが集団行動なのだから、責任を持って活動に臨むように話しているが、それを理解できても、積極的に活動に望めない生徒がいる現状にある。

また、生徒の探究心や創造力も年々希薄になってきている。そのため、地域社会や新しい商品を考案することに関心が持たず、実際に考案するアイデアの質も内容的には安易なものになってしまう傾向にある。指導者側が何度もアドバイスをし、考えを深めさせようとするが、なかなか有効的な意見が出ず、難しいと感じてしまうと簡単にあきらめてしまう生徒も見られる。

これらの問題については、ファシリテーションやコーチングを指導に取り入れるなどして改善していかねばならないと感じている。

さらに、この実践が2学期から始まるということもあり、進路先が徐々に決まりだすと、あとは卒業するだけといった感じで、授業に対するモチベーションも下がってしまっていた。

しかし、活動のまとめとなる学習成果発表会で全校生徒の前でのプレゼンテーションを経験すると、どの生徒も達成感を感じている様子が見られるため、今後とも、生徒にとって大舞台となるような機会をゴールとして活動に取り組みさせる予定である。

⑤ 地域との連携について

平成24年度から平成26年度までの3年間で地域との連携を充実させることはできなかった。キャリア教育推進協議会に参加していただいている方々に、生徒にミッションを提示する際のみ使用する映像教材に出演していただいたが、それ以外に生徒と関わっていただく機会を設けることができなかった。

しかし、宮城大学事業構想学部宮原ゼミの学生には、チューターとして来校していただき、生徒とともにディスカッションする授業は、毎年欠かさず実施することができた。生徒は、初めて会う大学生に向けて、緊張しながらチームで考案したアイデアのプレゼン

テーションを行う，その後のディスカッションでは，大学生から気さくに声をかけていただくと，徐々にリラックスしながらも真剣な表情で，アイデアに対するアドバイスを聞き入る様子が見られた。平成27年度以降は，この内容をベースに，地域の方々に協力をお願いできればと予定している。

⑥ (参考) 平成26年度ミッション

「大崎市の豊かな資源を活用し，大崎市民の笑顔が咲く『伊達な商品』を提案せよ！」

⑦ (参考) ミッションの詳細テーマ

鳴子地区：大崎市民が泊まりたいと思う「温泉宿」宿泊プランを考案する。

岩出山地区：若者をターゲットにした「しの竹細工」の新商品を考案する。

三本木地区：「ひまわり」をモチーフ（題材）にした新商品を考案する。

田尻地区：「ジャージー牛乳」を活用した新商品を考案する。

松山地区：地酒づくりに使う麴を活用した「甘酒」の新商品を考案する。

鹿島台地区：地元からの来場者が増える「互市」アップグレードプランを考案する。

⑧ ミッション設定の経緯

平成26年度は，平成25年度と同じミッション・詳細テーマに取り組んだ。

新しいミッションを設定しなかった理由は，平成27年度から起業家教育を実践する科目が「地域ビジネスプランニング」（学校設定科目）に変更され，単位数は2単位（週2時間）と1つ減るものの，実践期間は4か月間から1年間となり，授業時数も増えることから，内容の大幅な変更が必要なため，平成26年度はあまり内容を変更せずに実践した。

⑨ 課題

- ・年々低下している生徒の考える力を高めるための教材の改善及び指導力向上。
- ・地域社会をテーマとした新たなミッションおよび詳細テーマの設定。
- ・地域社会との連携強化（授業への参加・生徒の校外活動・定期的な交流など）

(6) キャリア教育推進協議会プログラム 7月及び1月（年2回）【繋げる】【深める】

ア 目的

魅力あるキャリア教育の推進のために，校外の方々に学校へ直接出向いて頂き，提言やご助言を頂くとともに，本校のキャリア教育にも積極的にかかわっていただくため。

イ 内容

校内にキャリア教育推進委員会を設置し，キャリア教育推進協議会の開催（外部協議会）へ向けての原案づくりを行う。そして，推進委員会の内容をもとにして，校外に学識経験者・地元中小企業主・地元公共職業安定所の担当者などによって構成されるキャリア教育推進協議会を年2回開催（外部協議会）する。

ウ 対象

校長，教頭，主幹教諭（商業科主任と兼務），教務部長，生徒指導部長，商業科起業家教育担当者2名（うち1名は事務局兼務），進路指導部長（事務局），進路指導部担当者（事務局2名）の9名。

エ その他

事務局は，進路指導部が担当する。

具体的な報告及び協議事項等については，参考として平成26年度の内容について掲載すると以下の通りである。

第1回 平成26年7月24日（火）開催

（1）報告

平成25年度キャリア教育推進事業報告

ア 平成25年度 キャリア教育推進協議会活動を中心とした主な活動報告

イ 平成26年度 キャリア教育推進協議会活動を中心とした主な活動中間報告

ウ 主な研究活動

エ 実施項目・成果・今後の課題

（2）協議

平成26年度キャリア教育に向けての推進事業計画の作成に向けて

ア 研究のねらい

イ キャリア教育を実践する科目構成

ウ 本校のめざす「キャリア教育」の全体像

エ 平成26年度における主な研究活動計画

オ 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業 事業計画書等について

カ 平成26年度「総合的な学習の時間」年間計画について

キ 平成26年度「就業体験」年間計画等について

第2回 平成27年1月29日（木）開催

（1）報告

平成26年度 キャリア教育推進事業について

ア 平成26年度 キャリア教育推進協議会活動を中心とした主な活動報告

イ 主な研究活動

ウ 実施項目・成果・今後の課題

エ 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業 事業計画書等について

オ 第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及び PTA 団体等文部科学大臣表彰について

（2）協議

平成27年度キャリア教育に向けての推進事業計画の作成に向けて

ア 研究のねらい

イ キャリア教育を実践する科目構成

ウ 本校のめざす「キャリア教育」の全体像

エ 平成27年度における主な研究活動計画

（7）キャリア教育に関する外部研修プログラム【繋げる】【高める】

ア 目的

教職員対象にキャリア教育に関する指導力の向上を図るため、多くの研修の機会を設定し、資質向上とともにキャリア教育の内容を一層充実させていくため。

イ 内容

進路指導関係では、昨年度実施することのできなかつた労働政策研究・研修機構（JILPT）主催の労働政策フォーラム等の視察（時期は年間不定期）も取り入れ、現在の雇用問題や社会生活等の課題について、全国を代表する専門家からのご教示を頂くことのできる機会を設けた。さらに、平成25年度から連続して引き続き、文部科学省のキャリア教育推進連携シンポジウム（東京都）の参加（1月）も1名減ではあるが計画し、全国のキャリア教育・進

路指導の先進的な取り組みをお伺いする機会を設ける。

専門教育及び起業家教育関係では、昨年度に引き続き、大阪商業大学主催の「起業教育研究会」（大阪府）8月、東北六県商業教育研究発表大会9月、全国高等学校生徒商業研究発表大会11月に積極的に出向きながら、研修を行っていききたい。また、平成28年度以降3年間にわたりかつてないほどの大幅な改訂となる日商簿記検定2級の主題範囲改定に伴う『簿記指導者講習会』（大原簿記学校）8月の研修も新たに計画をした。

平成27年度においても、引き続き商業科の専門性を深めさせるための教職員の資質向上を図っていききたい。

ウ 対象

全教職員

エ その他

昨年度に引き続き、研修の行程の中で可能な範囲で学校視察等も行っていきたい。

4 地域人材ニーズの状況、事業の必要性

（1）本事業を実施する背景

現在の雇用環境は多様化・複雑化しており、本校生徒が卒業後大きくかかわっていく課題である。東日本大震災以降、被災地において、地域に貢献できる人材の育成へのニーズが特に顕著である。また、生徒や保護者も地元に残り、宮城の復興に役立ちたいという意識が高まっており、平成24年度以降就職希望者のほぼ100%が県内を希望し、3年間で100%近くが地元職場のある事業所に就職している。また、就職内定率は平成24年度以降の3年間でほぼ100%（平成25年度のみ1名未内定）となっており、過去4年間の卒業生全員を対象とした就職後の状況調査においても離職率は減少し、平成24年度より3年間にわたり成果が出てきており、事業の必要性は高いといえる。

今後、充実したキャリア教育を実践していくには、地域との連携をますます深めながら、積極的に外部の方々の力を頂くことが一層必要となってきたことから、事業の必要性はますます高まってきていると言える。

また、商業に関する専門高校として、より一層特色のある教育を目指し、専門性を深めさせることができるよう充実・改善を図る必要性が急務である。商業に関する専門高校として、より一層特色のある教育を目指し、専門性を深めさせることができるよう充実・改善を図ることが必要不可欠である。地域人材と積極的に連携をしていながら、起業家教育プログラムや専門教育プログラムの内容を中心とした特色ある商業科目の教育実践を目指していききたい。

なお、平成24年度より3年間この事業を取り組んだ成果の一端として、**第8回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰に本校が受賞団体となった。**以上のことから、平成27年度も引き続き本事業の必要性が高いものがある。

（2）課題

（ア）これまで本校のキャリア教育・進路指導の時間にあてていた「総合的な学習の時間」について、3年間の系統的なキャリア教育・進路指導となるよう、さらに一層の充実・改善を図っていかねばならないこと。このプログラム（事業）により、様々な外部の方々と接する機会の充実をより一層図っていかねばならない。特に、勤労観・職業観の育成に重点をおいて教育実践を一層図ることである。

特に、特定非営利活動法人 ハーベスト様の全面支援により行っております「キャ

リアセミナー」は、本校のキャリア教育の看板として引き続き実施していきたい。

また、キャリアプランニング株式会社の桑名暢氏には、平成27年度の「キャリアの時間」に、多くのかかわりを持って頂くこととなっており、この時間の全体の約3分の1程度を桑名氏を含めた外部講師の方々により積極的にかかわって頂くことにより、一層の充実を図っていきたい。

- (イ) 雇用問題の現状を踏まえたキャリア教育・進路指導の教育内容の充実・改善をしていかなければならない。特に、進路目標達成後の指導の在り方について、混乱している雇用問題に直面する生徒への指導の在り方が大いに問われている現状を、きちんと教職員一人ひとりがより一層認識していくことが重要である。
- (ウ) 商業に関する専門高校として、より一層特色のある教育を目指し、専門性を深めさせることができるよう充実・改善を図っていかなければならない。特に、郷土の復興・再建も含め、地域の企業・行政などとの連携をより深め、地域の資源を活かしたビジネスプランの提案や商品開発等、地域と生徒が繋がるなど、より具体的な地域貢献の取り組みを行い、復興を担う人材としての志を高めさせることが急務である。
- (エ) キャリア教育・進路指導及び専門高校として専門性を深めさせるための教職員の資質向上が急務である。そのため、外部で行われている様々な研修の機会により、教職員の資質向上を図るとともに、各方面の専門家との交流を通じて連携を密にすることも大切となる。特に、労働政策フォーラム（独立行政法人 労働政策研究・研修機構（JILPT））への参加を計画した背景には、高校卒業後の人生の生き方・在り方が多様化・複雑化し、厳しい雇用問題の現状などから、キャリア教育の在り方を研究している研究者・事業者などから吸収し、進路目標達成後の指導の在り方を中心にキャリア教育・進路指導の課題解決を少しでも目指していきたい。

5 成果の普及・平成27年度以降の事業展開の予定（企業・団体・地域との関係）

（1）概要

平成27年度以降についても、「キャリア教育推進協議会」を継続運営し、全学年実施の「総合的な学習の時間」（1単位）では進路指導を中心としていき、3年生「地域ビジネスプランニング」（3単位）を中心とした起業家教育も継続・発展させ、生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」を推進したい。

キャリア教育推進協議会については、全国の高等学校をはじめとした教育機関の学校運営の様子について、情報収集等を積極的に行い、特に企業・団体・地域との関係をより一層充実したものとするため推進協議会の在り方について研究を深めていきたい。

就業体験については、事前・事後の指導時間は「総合的な学習の時間」（1単位）を中心として実施し2年目となった。指導体制だけでなく、指導の在り方について新たな課題も含めて数多くの課題解決を目指していかなければならない。

平成27年度は、平成24年度からの研究指定を受けてから3年が経過しており、引き続き継続的な検証を行っていくことが必要不可欠である。

また、平成26年度中に開設準備を行ってきた「キャリア教育のページ」を本校ホームページの一環として平成27年4月15日に公開した。本校のキャリア教育の取り組みを外部に発信し、様々な御意見・御助言・御指導を今まで以上に頂くことが可能となり、一層の充実を図っていきたい。

さらに、地元新聞等に本校のキャリア教育に関して記事が掲載されているとともに、放

送大学の放送授業・テレビ科目（BSデジタル放送）「多様なキャリアを考える（'15）」においてもキャリア教育の取り組みの様子が取り上げられるなど、全国各地に発信される機会も頂き、今後もこのような機会をいただくことがあれば、積極的に発信していきたい。

（２）各学習プログラム実施の成果の普及・具体的な事業展開について

（ア）「キャリアの時間」プログラム（週1時間・全学年）

- ①ワークシートや指導マニュアルによる指導方法等について、より一層の整理・一元化を進める。
- ②3年間の系統的なキャリア教育・進路指導についての見直しや改善をより一層進める。
- ③外部団体や外部講師の効果的な活用をより一層進める。

（イ）就業体験（インターンシップ）プログラム

- ①就業体験の指導体制・指導方法の充実をより一層進める。
- ②ビジネスマナー指導の充実や成果の普及をより一層進める。
- ③就業体験受け入れ先の事業所との関係構築をより一層進める。

（ウ）キャリアカウンセリングプログラム

- ①生徒情報の蓄積と進路相談の指導体制の充実をより一層進める。
- ②心理学や教育相談等に関する研修会への派遣や、心理カウンセラー関係の資格取得を目指す教員養成の啓蒙をより一層進める。

（エ）専門教育プログラム

- ①ビジネス基礎やマーケティング，課題研究における商品開発やマルチメディア実習，広告と販売促進など特色ある商業科目の教育実践を充実をより一層進める。
- ②職業資格取得の推進をより一層進める。
- ③専門家による秘書教育を取り入れたビジネスマナー教育をより一層進める。

（オ）起業家教育プログラム

- ①地域と連携した商品開発やビジネスプランの提案を行うなどの起業家教育の推進をより一層進める。
- ②学習成果発表会の充実を一層進める。
- ③専門性の深めるために宮城大学との連携を一層進める。
- ④地元の協力企業との連携を行う。

（カ）キャリア教育推進協議会プログラム

- ①キャリア教育推進協議会事務局の運営体制の構築を一層進める。
- ②キャリア教育推進協議会の体制づくりについての研究を一層進める。
- ③キャリア教育推進協議会委員の方々との連携を一層進める。

（キ）キャリア教育に関する外部研修プログラム

- ①キャリア教育の充実を一層進める。特に、進路指導において進路目標達成後の指導の在り方を中心にキャリア教育・進路指導の課題解決や、起業家教育も含めた商業科の専門性を深めさせるための教育実践に成果を発揮するものといえる。
- ②外部研修の機会を活用し、様々な人的ネットワークの構築を図る。

（３）平成27年度の主な事業展開計画

- ①全学年対象の「総合的な学習の時間」によるキャリア教育（自作教材について一層の

充実を目指す)

- ②外部との連携に一層力を入れ、外部機関や人材の積極的活用の促進
- ③宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班など教育行政機関との密接な連携
- ④宮城労働局・古川公共職業安定所をはじめとした各地のハローワーク等とのさらなる密接な連携に力を入れる。特に、本校在籍生徒の居住地域の約7割を占める仙塩地区にある仙台・塩釜ハローワークとの密接な連携も引き続き重視する。
- ⑤中小企業家同友会等との連携も含め、各企業等の事業所との密接な連携等を通じて、昨今社会問題となっている若年者の離職問題についての対策を積極的に行う。
 - ・離職問題に対応するためのデータ等の情報収集も一層促進する。
 - ・昨年度に引き続き、卒業後4年以内の卒業生を対象とした就職先の定着状況や離職状況について、事業所や卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を実施し実態の把握に努め、課題解決のための一助とする。
 - ・全学年実施の「総合的な学習の時間」等で、労働問題に関する教育を一層充実させる。
- ⑥進学した卒業生への追跡調査等を行い、専門学校等の進学先の実態を把握し、データ等の情報収集も一層促進していきながら、今後のキャリア教育・進路指導に生かしていくための一助とする。
- ⑦「就業体験（インターンシップ）」の指導の在り方について、キャリア教育の面から指導体制等について一層の強化を行う。
- ⑧3年連続で実施予定の全学年によるキャリアセミナーを行う。
- ⑨ビジネスマナー教育についての強化・改善に努める。特に、秘書サービス接遇関係の指導方法についてより積極的に取り入れていく。
- ⑩本校のキャリア教育実践の原点である起業家教育についての一層の充実に努める。
 - ・オリジナル教材「起業家教育 課題解決プログラム（KEEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシップ プログラム）」を活用する。
 - ・来年度より学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（2単位）実施にともない教育内容を一層充実させ、身につけさせたい社会人基礎力養成の一助とする。
 - ・宮城大学との連携 「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」も引き続き行う。
 - ・商業科を中心とした起業家教育関連科目「ビジネス基礎」「課題研究（特に商品開発やマルチメディア実習の内容）」「マーケティング」「広告と販売促進」等の教育実践内容を充実させる。
- ⑪学習成果発表会の実施
- ⑫キャリア教育のホームページやマスコミ・雑誌等により、本校のキャリア教育の取り組みを積極的に発信させていく。
- ⑬キャリア教育推進協議会の運営についての研究
 - ・特に、学校経営や学校マネジメントも視野に入れた協議会のよりよい運営について研究を行う。

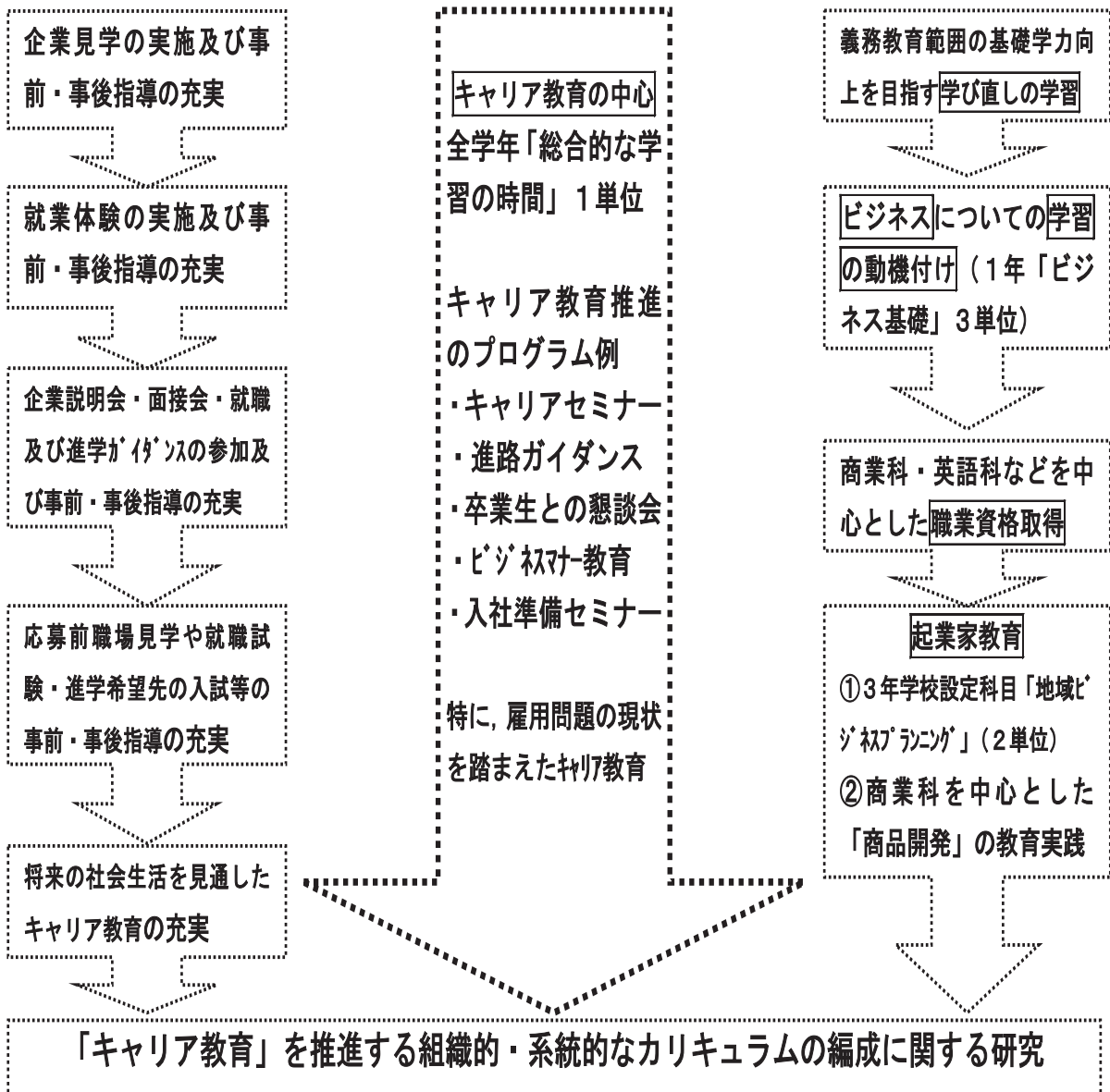
活動のねらい

- 1 「キャリア教育」を推進する組織的・系統的なカリキュラムの編成
- 2 「進路指導」を中心に「起業家教育（アントレプレナーシップ・商品開発）」等も系統化された学習体制の確立



生徒の望ましい勤労観・職業観を育む「キャリア教育」の推進

イ 「キャリア教育」を実践する主な内容及び科目等について



6 事業スケジュール

別紙様式2の通りです。

7 経費内訳書

別紙様式3の通りです。

講話の講師等に関しては未定の部分があります。

また、商品開発に関する経費についても昨年度の実績を元とした概算であり詳細は未定です。

8 事業実施体制

(1) 推進協議会の構成

組織名	代表名	役割等	都道府県
キャリア教育推進協議会	宮城大学教授 事業構 想学部事業構想学科 (協議会 座長) 宮原 育子 一般社団法人みやぎ大 崎観光公社常務理事・ 有限会社まやま代表 真山 隆宏 株式会社 デュナミス 事業部長 松浦 智博 大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 商工担 当主査 技術主査 志賀 康英 大崎商工会 主任主査 ・経営指導員 跡部 香名 東北経済産業局 地域 経済部産業支援課 産 業人材政策室 室長 遠藤 憲子 古川公共職業安定所 就職促進指導官 森 奈々 宮城県教育庁高校教育 課キャリア教育班 主 幹(指導主事) 都築 美幸	キャリア教育に ついての指導・ 助言を頂く	宮城県

	特定非営利活動法人ハーベスト 常務理事 中山 聖子 株式会社一ノ蔵 マーケティング室長 山田 好恵 キャリアプランニング株式会社 代表取締役 桑名 暢 デリシャスファーム株式会社 専務取締役 今野 栄子 校長（協議会 会長） 上総 通 教頭（協議会 事務局長） 黒田 賢一 主幹教諭 片倉 敏彦 教諭 小松 浩行 教諭 伊藤 泰昭 教諭 佐藤 守 教諭（協議会 事務局） 青野也寸志 教諭（協議会 事務局） 森 友寿 教諭（協議会 事務局） 森元 裕太		
キャリア教育推進委員会	校長 上総 通 教頭 黒田 賢一 主幹教諭 片倉 敏彦 教諭 小松 浩行 教諭 伊藤 泰昭 教諭 佐藤 守 教諭（委員会 事務局） 青野也寸志 教諭（委員会 事務局） 森 友寿 教諭（委員会 事務局） 森元 裕太	校内のキャリア教育の推進	宮城県

(2) 人材育成プログラム開発協力大学・企業・団体等

組織名	代表名	役割等	都道府県
宮城大学	理事長 西垣 克	キャリア教育推進協議会座長 学生チューター	宮城県
特定非営利活動法人ハーベスト	代表理事 山崎 賢治	キャリア教育推進協議会委員 キャリアセミナーの実施 キャリア教育の連携	宮城県
大崎商工会		キャリア教育推進協議会委員 地域行事の連携	宮城県
大崎市鹿島台総合支所	市長 伊藤 康志	キャリア教育推進協議会委員 地域行事の連携	宮城県
東北経済産業局	局長 山田 尚義	キャリア教育推進協議会委員 起業家教育の連携	宮城県
古川公共職業安定所		キャリア教育推進協議会委員 進路指導の連携	宮城県
キャリアプランニング株式会社	代表取締役 桑名 暢	キャリア教育推進協議会委員 進路指導の連携	宮城県
一般社団法人みやぎ大崎観光公社	代表 菊地 武信	キャリア教育推進協議会委員 起業家教育の連携	宮城県
株式会社 デュナミス	代表取締役 鈴木圭介	キャリア教育推進協議会委員 地域行事の連携	宮城県
宮城県教育庁高校教育課 キャリア教育班	高校教育課長	キャリア教育推進協議会委員 キャリア教育の指導・助言	宮城県
株式会社 一ノ蔵	代表取締役社長 鈴木 整	キャリア教育推進協議会委員 起業家教育の連携	宮城県

株式会社 デリシヤスフ ファーム	代表 今野 文隆	キャリア教育推 進協議会委員 起業家教育の連 携	宮城県
株式会社 HEXA		進路ガイダンス	宮城県
宮城県北部地方振興事務 所		1 学年企業見学	宮城県

(3) 事業の推進体制

※行が不足する場合には、適宜追加してください。

※文書全体を囲むような罫線は使用しないでください。

(様式2)

事業スケジュール

※セルの結合は行わないでください。

※A~K列では、列の挿入・削除は行わないでください。

NO	プログラム名	実施内容								備考
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1	「キャリアの時間」プログラム(全学年・週1時間)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	総合的な学習の時間(全学年・1単位)	
2	就業体験(インターンシップ)プログラム	事前指導(2学年・1単位)	事前指導(2学年・1単位)	事前指導(2学年・1単位)	事前指導(2学年・1単位)	事前・事後指導(2学年・1単位)及び実施	事後指導(2学年・1単位)	事後指導(2学年・1単位)	事後指導(2学年・1単位)	
3	キャリアカウンセリングプログラム(全学年)	二者・三者面談, キャリアカウンセリング	二者・三者面談, キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング	二者・三者面談, ハローワーク面談, キャリアカウンセリング	ハローワーク面談, キャリアカウンセリング	生徒指導サポーター・キャリアアドバイザー面談, キャリアカウンセリング	
4	専門教育プログラム	商業科授業, 部活動などでの指導	商業科授業, 部活動などでの指導	商業科授業, ビジスマナー特別指導, 部活動などでの指導	商業科授業, 販売実習, 部活動などでの指導	商業科授業, 販売実習, 部活動などでの指導	商業科授業, 部活動などでの指導	商業科授業, 部活動などでの指導	商業科授業, 部活動などでの指導	
5	起業家教育プログラム	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導, 宮城大学学生指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導, 学習成果発表会	商業科目「地域ビジネスプランニング」「課題研究」「広告と販売促進」での指導	
6	キャリア教育推進協議会プログラム	第1回						第2回		
7	キャリア教育に関する外部研修プログラム		大阪商業大学視察, 日商簿記指導者講習会	東北六県商業教育研究大会		全国高等学校生徒商業研究発表大会視察		キャリア教育推進連携シンポジウム		労働政策フォーラム等視察(年間不定期開催)
8										
9										
10										

宮城県鹿島台商業高等学校 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成事業

テーマ

- ・[地域貢献の志を育む] 地域の復興を担う人材としての志を高める
- ・[専門性の深化を図る] 商業科の専門性を深め、地域に貢献する人材を育てる

目的: 充実したキャリア教育・進路指導を推進し、地元就職100%を目指す。
キャリアデザインの意識を向上させ、3年以内離職者を全国平均より下回る30%台を目指す。
キャリア教育推進協議会を組織し、様々な場面での地域連携を深める。
起業家教育等で商業の専門性を深めさせ、地域貢献活動を推進する。

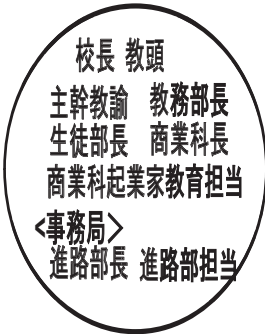
期待される成果

- ・内定率向上、非正規雇用への減少
- ・安易な進路選択の減少、離職者の減少
- ・推進協議会の意見を生かした教育の充実
- ・専門性の深化、地域貢献できる人材育成

推進体制

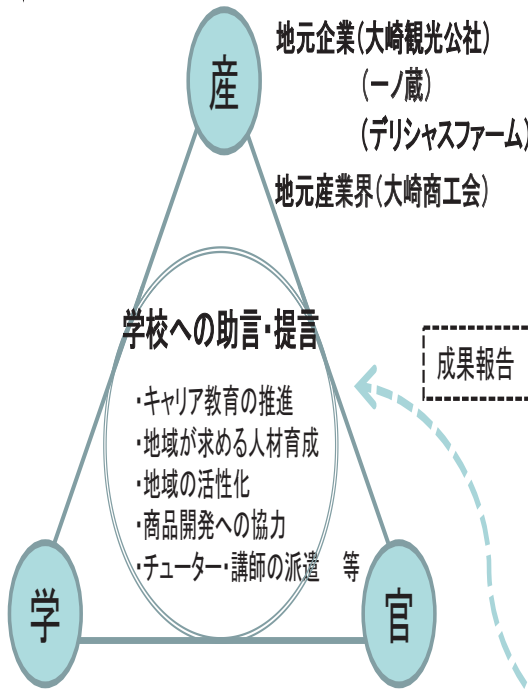
年度初(4月)

キャリア教育推進
委員会(校内)



年2回(7月・1月)

宮城県鹿島台商業高等学校
キャリア教育推進協議会



事業内容

- ・「キャリアの時間」プログラム
 - ・独自教材作成
 - ・キャリアカウンセリング
 - ・キャリアセミナー
 - ・進路ガイダンス
 - ・企業見学
 - ・外部講師講話
 - ・卒業生懇談会
- ・就業体験(インターシップ)プログラム
- ・キャリアカウンセリングプログラム
- ・専門教育プログラム
- ・起業家教育プログラム
- ・キャリア教育推進協議会プログラム
- ・キャリア教育外部研修プログラム

成果報告

(1月)

学習成果発表会

(学校全体で成果を共有)

カ 起業家教育 3年「地域ビジネスプランニング」年間指導計画及びミッション（課題）について

(1) 指導計画

月	学 習 内 容	備 考
4	① オリエンテーション ・学習内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業との打ち合わせ ・ミッション（課題）の設定 ・<u>ミッション映像の撮影</u>
5	② プレゼンテーション学習 ・PowerPoint の使い方 ・効果的なスライド（発表資料）作成 ・シナリオ（発表原稿）作成	
6	・伝わる話し方の練習 ・プレゼンテーション演習	
7	③ 起業家教育オリエンテーション ④ ミッション（課題）発表 ⑤ チーム編成・アイスブレイク ⑥ 担当テーマ・担当企業の決定 ⑦ <u>「企業訪問」</u> （※夏季休業中）	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業訪問」日程調整 ・生徒が担当企業を訪問させていただき、見学や体験を行う
8	⑧ ミッションの背景を探る ・テーマに隠された課題の原因を推測する	
9	⑨ <u>「企業ミーティング」</u> ⑩ アイディアのコンセプトを考える ⑪ 企画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業に来校していただき、生徒とディスカッションする
10	⑫ 「中間報告会①」 ⑬ アイディアを改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生に来校していただき、生徒とディスカッションする
11	⑭ <u>「中間報告会②」</u> ⑮ アイディアを完成させる	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業に来校していただき、生徒とディスカッションする
12	⑯ プレゼンテーションプランの作成 ⑰ プレゼンテーション資料の作成	
1	⑱ プレゼンテーション・リハーサル ⑲ <u>「学習成果発表会」</u> ⑳ 活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会に参加していただき、生徒のプレゼンに対して講評をいただく

(2) ミッション（課題）について

（案1）地域が抱えている課題を1つのテーマとし、協力企業や地域の資源を活用して、課題の解決につながる新しい商品のアイディアを考案する。

（案2）協力企業（6社予定）それぞれでミッションを設定し、協力企業や地域の資源を活用して、新しい商品のアイディアを考案する。

キ 平成27年度「総合的な学習の時間」年間計画について

平成27年度 総合的な学習の時間実施計画①					
	1学年	場所	2学年	場所	視聴覚室使用
4/10(金)2年 4/14(火)1年	キャリア教育オリエンテーション(全体講話) [講師:進路指導部長・生徒指導及びキャリアアドバイザー]	視聴覚室	キャリア教育オリエンテーション(全体講話) [講師:進路指導部長・生徒指導及びキャリアアドバイザー]	視聴覚室	1・2年
4/13(月) (YG検査4/14(火))	基礎力診断テスト, YG検査(4/14(火))	教室	進路諸検査	教室	
4/17(金)	(1)キャリア教育オリエンテーション -計画表の配付・本校3年間のキャリア教育について, キャリア教育の必要性 など- (2)進路動向調査①	教室	就業体験事前指導(その①) (1)就業体験の目的 (2)平成26年度就業体験について (3)就業体験の流れ	視聴覚室	2年
4/24(金)	(1)先輩の進路について(進路の手引きも活用) (2)社会人として必要なこと・高校でやるべきこと (3)職業資格取得について (4)就職・進学・公務員試験について	教室	就業体験事前指導(その②) (1)就業体験希望先の職種の提示 (2)就業体験希望先の業務内容確認	視聴覚室	2年
5/15(金)	社会人としての教養を高める①	教室	就業体験事前指導(その③) (1)就業体験先希望回収	視聴覚室	2年
5/22(金)	(1)特別指導の振り返り (2)キャリアセミナーについて	教室	就業体験事前指導(その④) (1)コミュニケーション (2)マナー	視聴覚室	2年
5/29(金)	キャリアセミナー(4・5・6校時) 特定非営利活動法人 ハーベスト				
6/5(金)	社会人としての教養を高める②	教室	特別指導① 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役)	視聴覚室	2年
6/12(金)	特別指導① 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役)	音楽室	就業体験事前指導(その⑤) (1)人間関係の作り方	武道館	3年
7/3(金)	進路ガイダンス(2時間連続 5・6校時)HEXA様	各場所	進路ガイダンス(2時間連続 5・6校時)HEXA様	視聴覚室	2年
7/10(金)	講話及び進路ガイダンスの振り返り -これからの学校生活・進路について考える- ※予備日(体育祭予備日)	教室	就業体験事前指導(その⑥) ※予備日(体育祭予備日)	視聴覚室	2年
8/28(金)	特別指導② 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役)	視聴覚室	就業体験事前指導(その⑦) (1)自己紹介ワークシート作成 (2)自己紹介ワークシート清書	教室	1年
9/4(金)	講話の振り返り	教室	就業体験事前指導(その⑧) (1)自己紹介ワークシート作成 (2)自己紹介ワークシート清書	教室	3年
9/11(金)	自分を知る ①好きな自分と嫌いな自分,未来の自分像を描く ②未来の自分像を描く,10年後20年後の未来予想図	教室	特別指導② 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役)	視聴覚室	1年
9/18(金)	全体講話①社会人に求められること -高校でやるべきこと,身につけるべきこと- [講師:進路指導部]	武道館	就業体験事前指導(その⑨) (1)就業体験の意義について (2)就業体験の承諾書配布	視聴覚室	2年

平成27年度 総合的な学習の時間実施計画②

	1 学年	場所	2 学年	場所	視聴覚室使用
10/ 2 (金)	企業見学事前指導 (事前学習, 質問事項の作成・参加するにあたって)	教室	就業体験事前指導 (その①) (1) 就業体験先連絡ワークシート (2) 電話のかけ方について	各教室	
10/ 6 (火)	企業見学 (体験活動)				
10/ 9 (金)	企業見学事後指導 (振り返り・まとめ) - 体験学習の振り返りを行う -	教室	第2回進路ガイダンス「ビジネスマナー講習会」(5・6校時) 放課後「ビジネスマナー実技講習会」 講師: 福島学院大学短期大学部教授 小松 由美 氏	視聴覚室	2年
10/16 (金)	特別指導事前指導 進路動向調査②	教室	特別指導③ 講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役)	視聴覚室	2年
10/30 (金)	特別指導③ 講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役) ※保護者セミナーも兼ねる	音楽室	就業体験事前指導 (その①) (1) 就業体験先への経路確認 (2) 就業体験先で必要な物品確認	視聴覚室	2年
11/ 6 (金)	職業を調べる① (図書館, 情報室) 調べ方まとめ方についての説明 テーマの設定とテキスト・PCの利用法	図書館 情報室	就業体験事前指導 (その②) (1) 就業体験日誌確認 (2) 就業体験先毎打合せ	視聴覚室	2年
就業体験前			結回式	視聴覚室	2年
11/10~12			就業体験 (11月10日 (火) ~12日 (木))	各就業体験先	
11/13 (金)	職業を調べる② (図書館, 情報室)	図書館 情報室	就業体験事後指導 (その①) (1) お礼状下書き作成 (2) お礼状の確認作業 (3) お礼状清書	各教室	
11/20 (金)	職業を調べる③ (図書館, 情報室)	図書館 情報室	特別指導④ 講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役)	視聴覚室	2年
12/ 4 (金)	進路ガイダンス (2時間連続 5・6校時) キャリアプランニング	視聴覚室 他	就業体験事後指導 (その②) (1) ワークシート作成	各教室	1年
12/11 (金)	社会人としての教養を高める③	教室	修学旅行		3年
12/18 (金)	進路ガイダンスを振り返って - ガイダンス当日のシートを用いて振り返りまとめる -	教室	特別指導⑤ 講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役)	音楽室	3年
1/15 (金)	職業資格取得に向けて①	教室	特別指導⑥ 講師: 桑名 暢 氏 (キャリアプランニング株式会社代表取締役) ※保護者セミナーも兼ねる	視聴覚室	2年
1/22 (金)	職業資格取得に向けて②	教室	講話「3年生における進路目標達成に向けて」 講師: 進路指導部	総合実践室	3年
1/29 (金)	卒業生との懇談会に向けて - 希望表の記入・質問事項の記入 -	教室	卒業生との懇談会に向けて	各教室	3年
2/16 (月)	卒業生との懇談会 (2時間連続 5・6校時)	教室	卒業生との懇談会 (2時間連続 5・6校時)	視聴覚室	2年
3/2 (水)	社会人としての教養を高める④	教室			
3/7 (月)	社会人としての教養を高める⑤	教室			
3/8 (火)	社会人としての教養を高める⑥	教室			
3/17 (木) 2時間	生徒指導アドバイザー・キャリアアドバイザー講話 キャリア教育の振り返り	視聴覚室	進路ガイダンスHEXA様 (2時間連続, 進路目標達成に向けて)	視聴覚室	1年(1・2校時), 2年(3・4校時)
3/18 (金) 2時間	進路ガイダンス (2時間連続) HEXA様	視聴覚室以外	生徒指導アドバイザー・キャリアアドバイザー講話 キャリア教育の振り返り	視聴覚室	2年

平成27年度 総合的な学習の時間実施計画①

3 学 年					
就職希望者	公務員希望者	進学希望者	模擬教室使用	備考	
4/9 (木)	キャリア教育オリエンテーション(進路講話・視聴覚室) [講師:進路指導部長・生徒指導部長及びキャリアアドバイザー]				
4/13 (月)	進路指導特別強化日(4時間) 作文についての対策指導 1・2校時:外部講師による指導(HEXA様), 3・4校時:担任・副担任による指導				
4/17 (金)	「高校生の新・就職面接の攻略」DVD観賞(音楽室,プリント配布)			2年	
4/24 (金)	「進路の手引」の使い方,進路年間スケジュール確認(総合実習室,「進路の手引」使用)			2年	4/26(日)進路輪旋説明会Ⅰ
5/15 (金)	学校推薦および書類作成(「受験先志望願」「就職輪旋願」「調査書発行願」など)について 自己分析シート作成(総合実習室)	公務員試験対策①(進路指導室)	学校推薦および書類作成(「学校推薦願」「大学・専修各種学校等受験願」「調査書発行願」など)について 自己分析シート作成(総合実習室)	2年	5・6月中 二者面談 進路輪旋説明会Ⅱ
5/22 (金)	SPI対策テスト(5・6校時) 各教室			2年	
5/29 (金)	キャリアセミナー(4・5・6校時) 特定非営利活動法人 ハーベスト				
6/5 (金)	面接ノート作成①(各教室)	公務員試験対策②(進路指導室)	面接ノート作成①(各教室)	2年	
6/12 (金)	進路ガイダンス(5・6校時)※進路希望別に行う HEXA様			3年	6/24(水)~6/26(金)進路用写真撮影 6/29(月)~6/30(火)模擬面接①
7/3 (金)	応募前職場見学・受験手続きについて 面接ノート作成②(総合実習室→各教室)	公務員試験対策③(進路指導室)	入試説明会・オープンキャンパス等の参加について 面接ノート作成②(総合実習室→各教室)	2年	
7/10 (金)	応募前職場見学・受験手続きについて 面接ノート作成③(総合実習室→各教室)	公務員試験対策④(進路指導室)	入試説明会・オープンキャンパス等の参加について 面接ノート作成③(総合実習室→各教室)		(体育祭予備日)
7月中旬	特別講話④ 講師:桑名 暢 氏(キャリアプランニング株式会社代表取締役)※保護者セミナーも兼ねる				特別時間割時に3・4校時で実施希望
7/29 (水) 午前中	外部による直前指導①	外部による直前指導①	外部による直前指導①	3年	
8/5 (水) 午前中	3学年・進路指導部担当教職員による事前指	3学年・進路指導部担当教職員による事前指	3学年・進路指導部担当教職員による事前指	3年	
8/18 (火) 午前中	外部による直前指導② 受験先志望願提出締切	外部による直前指導②	外部による直前指導②	3年	
夏休み中 夏休み明け	夏休み中 7月中 応募前職場見学及び学校見学事前指導 8月中 職場見学及び学校見学事後指導 8/18(火)受験先志望願提出締切(午前),進路相談 8/20(木)就職校内選考会議 8/21(金)~25(火)履歴書指導 8/26(火)就職応募書類締切(学年) 8/26(水)~28(金)模擬面接指導②				
8/28 (金)	面接ノート作成④(各教室)	公務員試験対策⑤(進路指導室)	面接ノート作成④(各教室)	1年	
9/4 (金)	就職進学出陣式(場所:視聴覚室)			3年	模擬面接指導③9/7(月)~
9/11 (金)	就職に向けて⑨	公務員を目指して⑨	進学を目指して⑨	1年	模擬面接指導④9/14(月)
9/18 (金)	就職に向けて⑩	公務員を目指して⑩	進学を目指して⑩	2年	※試験を終えた生徒は,随時,振り返りシートを記入する。
実施予定内容	就職に向けて 履歴書指導 面接指導(面接ノート作成も含む) 一般常識・SPIについて 書類作成について 応募前職場見学について 受験手続きについて など	公務員を目指して 筆記試験について 適性試験について 面接指導 (面接ノート作成も含む) 書類作成について など	進学を目指して 進学先の研究 作文・小論文について 面接指導(面接ノート作成も含む) オープンキャンパス・学校見学について 基礎学力について		

平成27年度 総合的な学習の時間実施計画②

3 学 年					
	就職希望者	公務員希望者	進学希望者	内定または合格した生徒	視聴覚室使用
10/ 2 (金)	講話『合同面接会に向けて』	「入学願書等の最終チェック」「面接ノート作成」「面接練習」「小論文練習」のいずれか	「入学願書等の最終チェック」「面接ノート作成」「面接練習」「小論文練習」のいずれか	講話『将来の社会生活について』	
10/ 9 (金)	『合同面接会に向けて』, 「自己紹介書」の作成	公務員を目指して	面接練習, 面接ノート作成等	将来の社会生活について	2年
10/16 (金)	『合同面接会に向けて』, 「自己紹介書」の作成	公務員を目指して	面接練習, 面接ノート作成等	将来の社会生活について	2年
10/30 (金)	『合同面接会に向けて』, 「自己紹介書」の作成	公務員を目指して	面接練習, 面接ノート作成等	将来の社会生活について	1年
11/ 6 (金)	『合同面接会に向けて』, 「自己紹介書」の作成	公務員を目指して	面接練習, 面接ノート作成等	将来の社会生活について	2年
11/13 (金)	就職未内定者フォロー	公務員を目指して	進学を目指して	将来の社会生活について	
11/20 (金)	就職未内定者フォロー	公務員を目指して	進学を目指して	将来の社会生活について	2年
12/ 4 (金)	「新入社員的心構え」他(講話)	公務員を目指して	進学を目指して	合格体験記の作成	1年
12/11 (金)	社会人への準備①(予定: 将来のキャリアについて(講師: 進路指導部)) ※視聴覚教室				3年
12/18 (金)	社会人への準備②(将来の家計・金融関係について(SMBCコジューマ・ファイナンス(株) 佐藤一秋氏 他(予定)) ※視聴覚教室				3年
1/15 (金)	社会人への準備③(予定: 年金・保険等について(進路指導部)) ※音楽室				2年
1/22 (金)	社会人への準備④(入社準備セミナー(予定: 仙台音楽学院短期大学准教授 博士(経営学) 小形美樹氏) ※5・6校時希望, 視聴覚教室				3年
1/29 (金)	社会人への準備⑤(労働法について(講師: 進路指導部)) ※視聴覚教室				3年
実施 予定 内容	就職未内定者に向けて 履歴書指導 面接指導 (面接ノート作成も含む) 一般常識・SPIについて 書類作成について 応募前職場見学について 合同面接会について 一般求人について 受験手続きについて など	公務員を目指して 筆記試験について 適性試験について 面接指導 (面接ノート作成も含む) 書類作成について など	進学を目指して 進学先の研究 作文・小論文について 面接指導 (面接ノート作成も含む) オープンキャンパス・学校見学について 基礎学力について など	将来の社会生活に向けて ビジネスマナーについて 労働問題及び労働法について 外部・生徒指導及びキャリアアドバイザー講話 心理学講座 基礎学力について など	

ク 平成27年度「就業体験」年間計画等について

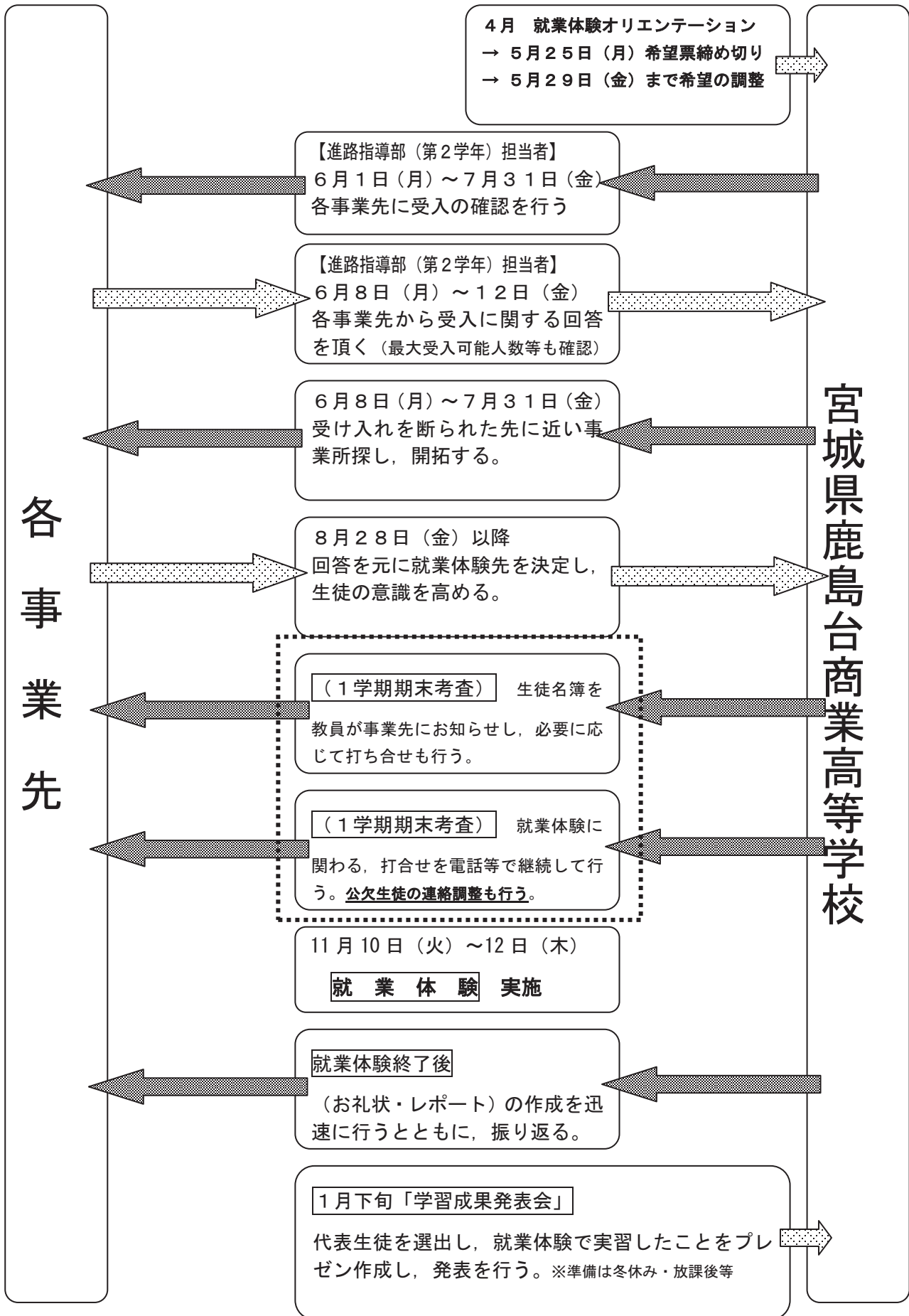
平成27年度 2年 総合的な学習の時間「就業体験 等」 年間計画

進路指導部

	曜日	時間	累計	授業内容	実施場所	学習P	授業形態
4月10日	金	6	1	就業体験オリエンテーション	視聴覚室		合同
4月13日	月	1~4		進路諸検査	教室		クラス
4月17日	金	6	2	就業体験事前指導（その㉑） （1）就業体験の目的 （2）平成26年度就業体験について （3）就業体験の流れ	視聴覚室		合同
4月24日	金	6	3	就業体験事前指導（その㉒） （1）就業体験希望先の職種の提示 （2）就業体験希望先の業務内容確認	視聴覚室		合同
5月15日	金	6	4	就業体験事前指導（その㉓） （1）就業体験先希望回収 （2）就業体験の目的 （3）企業が求める人材	視聴覚室		合同
5月22日	金	6	5	就業体験事前指導（その㉔） （1）コミュニケーション （2）マナー	視聴覚室		合同
5月29日	金	4・5・6		※キャリアセミナー（4・5・6校時） 特定非営利活動法人 ハーブ ベスト	各教室等		合同
6月5日	金	6	6	特別指導① 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）	視聴覚室		合同
6月12日	金	6	7	就業体験事前指導（その㉕） （1）人間関係の作り方	武道館		合同
7月3日	金	5・6	8・9	進路ガイダンス（2時間連続 5・6校時）HEXA様	視聴覚室		合同
7月10日	金	6	10	就業体験事前指導（その㉖） ※予備日（体育祭予備日）	視聴覚室		※ ※
8月28日	金	6	11	就業体験事前指導（その㉗） （1）自己紹介ワークシート作成 （2）自己紹介ワークシート清書	教室		クラス
9月4日	金	6	12	就業体験事前指導（その㉘） （1）就業体験先連絡ワークシート （2）電話のかけ方について	教室		クラス
9月11日	金	6	13	特別指導② 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）	視聴覚室		合同
9月18日	金	5・6	14・15		視聴覚室		合同
10月2日	金	6	16	就業体験事前指導（その㉙） （1）就業体験の意義について （2）就業体験の承諾書記布	各教室		クラス
10月9日	金	6	17	第2回進路ガイダンス「ビジネスマナー講習会」（5・6校時） 放課後「ビジネスマナー実技講習会」 講師：福島学院大学短期大学部教授 小松 由美 氏	視聴覚室		合同
10月16日	金	6	18	特別指導③ 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）	視聴覚室		合同
10月30日	金	6	19	就業体験事前指導（その㉚） （1）就業体験先への経路確認 （2）就業体験先で必要な物品確認	視聴覚室		合同
11月6日	金	6	20	就業体験事前指導（その㉛） （1）就業体験日誌確認 （2）就業体験先毎打合せ	視聴覚室		合同
11月10日	火			就業体験（11月10日（火）～12日（木））			
11月11日	水			就業体験（11月10日（火）～12日（木））			
11月12日	木			就業体験（11月10日（火）～12日（木））			
11月13日	金	6	21	就業体験事後指導（その㉜） （1）お礼状下書き作成 （2）お礼状の確認作業 （3）お礼状清書	教室		クラス
11月20日	金	6	22	特別指導④ 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）	視聴覚室		合同
12月4日	金	6	23	就業体験事後指導（その㉝） （1）進路別（就業体験先別）にレポート・ワークシート作成	各教室		クラス
12月18日	金	6	24	特別指導⑤ 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）	音楽室		合同
1月15日	金	6	26	特別指導⑥ 講師：桑名 暢 氏（キャリアプランニング株式会社 代表取締役）※保護者セミナーも兼ねる	視聴覚室		合同
1月22日	金	6	27	講話「3年生における進路目標達成に向けて」 講師：進路指導部 自動車免許の取得について	総合実践室		合同
1月29日	金	6	28	卒業生との懇談会に向けて	各教室		クラス
2月16日	金	5・6	29	卒業生との懇談会	視聴覚室		合同
3月17日	木	3・4	30・31	進路ガイダンスHEXA様 （2時間連続、進路目標達成に向けて）	視聴覚室		合同
3月18日	金	3・4	32・33	生徒指導アドバイザー・キャリアアドバイザー講話 キャリア教育の振り返り	視聴覚室 他		合同

就業体験実施フローチャート

進路指導部



キャリア教育推進協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、キャリア教育推進協議会（以下「協議会」）という。

(目 的)

第2条 協議会は、宮城県鹿島台商業高等学校の生徒に望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育を推進することを目的とする。

(事 業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 効果的なキャリア教育が推進されるよう、進路指導・キャリア教育等の指導計画に関する意見や協力を図る。
- (2) 産業界・関係機関・地域との連携を図る。
- (3) 社会人講師等、外部人材の積極的活用を図る。

(事務局)

第4条 協議会の事務局は、宮城県鹿島台商業高等学校に置く。

(協議会の構成)

第5条 協議会は、事務局より推薦された委員をもって構成する。

(役 員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

会長 1名 座長 1名 事務局長 1名

(役員を選出)

第7条 役員は、事務局の推薦により選出し任期を1年とする。ただし、再任は妨げない。

(会 議)

第8条 協議会の会議は、会長が招集する。ただし、会長は諮問機関としてキャリア教育推進委員会（事務局）を招集し、会務執行について協議することができる。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総理する。
- (2) 座長は、協議会の議事の遂行を行い、意見を集約する。
- (3) 事務局長は、会議の進行を行う。

附則1 この会則は、平成22年4月から施行する。

附則2 この会則は、一部改定し、平成25年4月より施行する。

「キャリア教育推進協議会」

事務局：宮城県鹿島台商業高等学校

〒989-4104 宮城県大崎市鹿島台広長字空師前4-4

電話 0229-56-2664 F A X 0229-56-2461

ホームページ（随時更新中）

[学校トップページ](#)

<http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp/>

[キャリア教育のページ](#)

http://kasimadai-ch.myswan.ne.jp/html_career/career_index.html



11月10日から3日間にわたり“鹿島台互市” および 不定期に
“鹿島台昭和のふれあい互市” が盛大に開催されます。